京城日報

本紙定價　一部金參錢▲一箇月前金七十五錢▲郵税[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　[illegible]　振替京城[illegible]

十二月十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇スパルタカス團剿討計畫　伯林騷擾依然繼續

エベルト政府は伯林郊外に蔓延しつゝあるスパルタカス團剿討の爲め伯林軍隊を派遣しつゝあり帝國議事堂は同派に占領せらる尚伯林の騷擾は依然繼續しつゝあり（巴里電報）

◇政府兵士會確執　＝獨諸新聞紙の觀測＝

伯林來電に據れば現獨逸政府と兵士會との確執は依然熄まず兵士は憲法會議召集に反對しつゝあり尚普魯西近衞團の入都は人心を鎭靜せしめたり諸新聞は憲法會議召集より帝國議會召集に賛意を表し國內秩序を維持するに非ざれば聯合國は獨逸全國を占領するならんとの說を稱へ居れり（倫敦電報）

◇獨議會召集否認

桑港來電＝伯林よりの報道に依れば獨逸新政府は帝國議會を召集すべしとの說を公然否認せり（東京特電）

◇米大統領巴里著

米國大統領ウヰルソン氏十四日午前十時十五分巴里に到著せり（巴里電報）

◇米主要艦隊歸還

英國主要艦隊と共同作戰に從事したる米國海軍主要艦隊は十二月中に歸還す可し（倫敦電報）

◇英破壞飛行機數

倫敦來電＝英國政府公表に依れば昨年中破壞されたる軍用飛行機總數は三千六十臺にして內西部戰線に於て英軍が射落したる敵飛行機は一千百七十四臺なり又英軍の喪失したる飛行機總數は一千三百十八臺なりと（東京特電）

◇軍艦日進君府着

日本巡洋艦日進は水雷艇二隻を率ゐ六日君士坦丁堡に到着せり（巴里電報）

◇米御用船解傭

米國は近く積載容積八十萬噸の御用船を解傭す可し（紐育電報）

◇米聯合國貸附額

華盛頓來電＝米國より白耳義への貸付け金額は二億一千三百二十三萬弗に達し聯合國への貸付け金總額は八億二千三百五十四萬弗に上れり（東京特電）

◇フ元帥波蘭調查

華盛頓來電＝フオシュ元帥は聯合軍將校若干名を波蘭に派遣し同地方を調查せしむる事となせり尚同地方に於ける獨逸軍に撤退援助を惹起したり（東京特電）

◇佛代表妥協勸告

哈爾賓來電＝報ぜらるる所に依ればオムスクに於ける佛國代表者はコルチャック、セミヨノフ兩者に妥協を勸告したるも要するに目下の處佛國側は中立的態度を執り居るもの如し（東京特電）

◇軍需大臣財政意見

倫敦來電＝軍需大臣チャーチル氏は英國財政に就き述べて曰く余は勿論將來の確信をなすと雖も容易ならざる狀態に對しては吾人は勇敢に是を切り拔くべし我國債の七分の六は我國の負ふべきものにして其額の大部分は聯合國及び露國の爲に生じたる所のものなり英國は啻に此利息を取り得たるのみならず政府は此證券を騰上たる英國民に對して其利息を支拂はざるべからず有力なる聯合國委員會は全露國債返濟する目的を以て押收すべき獨逸國內の財産に就き指令を請へり（東京特電）

◇國務省公文發表

華盛頓來電＝國務省は最近智利及び秘露諸新聞紙に發表せられたる公文を公表せり右公文の趣旨は兩國政府に宛てたる米國大統領の警告と同樣なり（東京特電）

◇瑞西大統領選擧

萬國赤十字名譽總裁グスターヴ、アドア博士は千九百十九年度瑞西大統領に選擧されたり（倫敦電報）

◇ボナーロー氏辭意

ボナーロー氏は近く大藏卿を辭職す可しとの意を漏らせり（倫敦電報）

◇無線電信局國有

米國海軍卿は各沿岸無線電信局の國有を主張せり（紐育電報）

◇ブ提督委員漢堡到著

コペンハーゲン來電＝漢堡よりの報道に依ればブラウニング提督の一委員は漢堡に到著せり尚英國商船三十隻も檢閱を受くる爲め同港に碇泊し居れり（東京特電）

◇菅野少將渡歐

獨逸潛水艇廻航の爲め菅野海軍少將以下近く渡歐の途に就く可し（東京特電）

◇高島中將通過

師團長會議の爲め東上中なりし高島第十九師團長は十六日朝釜山上陸直ちに北行せり（釜山特電）

◇師團管區改正

第二十師團（明年四月より開廳）下は步兵第四十旅團（のみ）の演習召集簡閱點呼事務規程中師團の管區を左記の通り改正明年一月一日より實施の事となれり
▲第十九師團管區　咸鏡北道、咸鏡南道、江原道
▲第二十師團　前記三道以外の各道

◎土木會議開會

十六日午後一時より總督府第一會議室に於て土木會議を開き山縣政務總監始め各部長官局長等出席打合せを爲し同四時散會せり

◎官立學校長會議

官立學校長會議は明年一月十五日より三日間總督府第二會議室に於て宇佐美內務部長官統裁の下に毎日午前十時より午後四時迄開催のことゝなりたるが其の日程及び出席者左の如し
▲日程　十五日總督訓示、諮問事項十六日臨時事項十七日指示、打合事項、
▲出席者　京城專修學校長吾孫子勝京城醫學專門學校長芳賀榮次郎京城工業專門學校長豐永眞里水原農林學校長本田幸介京城中學校長柴崎鐵吉釜山中學校長平山正平壤中學校長赤木萬二郎龍山中學校長[illegible]大田中學校長[illegible]京城高等普通學校長岡元輔[illegible]高等普通學校長[illegible]京城女子高等普通學校長[illegible]三郎平壤女子高等普通學校長[illegible]

◎地査委員會

高等土地調査委員會にては十六日午後一時半より第二會議室に於て第三部の委員會議を開けり

◎鮮銀新株發行　報告總會終了

朝鮮銀行にては十六日午後二時より東京に於て第二回增資報告の爲め株主總會を開會異議なく可決したるが本店にては十八日增資並に第一回拂込終了の登記手續を終り新株二千萬圓は來る二十日頃より發行の豫定にて準備成り居れり

◎鮮銀限外發行

朝鮮銀行券の發行高は十三日現在に於て一億百九十七萬圓を示し十四日には幾分縮少して一億百二十萬圓となりたるが中旬に入り內地金融界漸次緊縮の傾向にてコール小高く正貨準備の發行增は限外に在稅年六分を支拂ふより不利益となりしもの、如く鮮銀にては遂に總督府より許可されたる範圍內に於て十三日より限外發行をなすに至れるが十三日の限外は四百四十九萬七千圓十四日は銀行券の小縮に準じ限外も聊か少額となり三百九十一萬九千圓を示せり

◎西伯利の商戰　今村駐露財務官談

駐露財務官今村次吉氏は哈爾賓行の途上五日夜入京せり其談に曰く

▲西伯利亞援助　本邦の西伯利財政經濟援助委員會の事業には予は直接の關係を有せず從つて詳細の事は知らざるもその各種事業の調查準備等着々緒に就きたるらしきも西伯利に於ける物資の缺乏は言語に絕するものあるに付その具體的活動を見るも遠きにはあらざるべき乎、委員會成立以來調査準備等にのみ日を送りつゝありとの批評は一應尤もなれども個人若くは一社の事業と異なり國家が之れを行はんとするには其の踏出しまでに相當時日の經過は免れ難き事ならん

▲全露政府藏券　在オムスク全露政府が大藏省證券五億留の發行を最近官報にて發表したる事は概略を承知せしのみその如何なる形式によりて實行せんとするかは哈爾賓到着の上調査したしと考へ居れり思ふに全露政府發行の藏券に對する民間の應募力絕無なるべしと斷ずるは正當ならざらん露國の內部疲弊せりと雖も尙ほ相當の財力は民間の有産階級に存し居るべし然も目下の如き國情にては多額の藏券を民間の應募に俟たんとするは不可能の事情あるべく結局關係銀行に應募せしむる形式を執るか若しくはその他の方法にて窮乏せる政費の調達をなさんとするなるべし尙ほ全露政府は露國各政府中最も勢力を有する如く殊に西伯利軍隊多數をその指揮下に置けるは同政府の强味たり從つて政費の必要も急なるものあるべきか

▲戰後の商戰　横濱正金銀行の浦鹽支店設置は余の東京滯在中に確定せし事にてその家屋の借入れも終り行員も既に夙に派遣せられたりこの事なりしに付歐米の企業も近かるべきか戰後の西伯利は日米を初め列强の商戰猛烈なるべく地の利を占めし帝國に於ては金融機關の進出活動と相前後して實業家は大に角逐の準備覺悟を要すべし予は當分ハルピンに駐まり財務の事に當るべくその後奥地に進むや否やは目下の所迷つて居らず

獨逸革命の意義（一）

京友局　一記者

這回の大戰の結果は、世界に於ける地圖の色に變化の來る可きは勿論、列國の國際的關係にも亦自から大變化の起る可きは何人も豫想してゐた所であるが而も彼の彪然たる巨大國露西亞の土崩瓦解するに至り、加之又最近に至つて、獨逸墺匈諸國の殆ど亦

▲之と相均しき　狀態に陷つたといふことは、吾人の最も意とする所である。乃ち今其の獨逸革命の顚末を記して、其の眞相を明かにし以て有識座右の資に供へんとするものである。凡そ獨逸革命の原因は、之れを遠因と近因との二つに區別して考へることが出來る。而して先づ遠因から之れを考究して行くと、第一に革命の中心となつたものは社會黨であつたといふことは言ふまでもないことで、乃ち此の社會黨は戰前既に百十五名の議員を帝國議會に出し其の結果

▲第一の多數黨　として勢力ありしこと、及び開戰後同黨は分裂したが、其の勢力益加はりその少數派は人員僅少であつたとは雖も、中には錚々たる分子を含んでゐて、同黨の政府攻擊は他の交戰國に見ざる程熱烈であつたのである。又戰局が長引くに從つて、戰勝の希望は漸く薄くなり、食糧の窮乏物資の不足等生活上の困難に伴なうて、當局者に對する國民の不平熾烈なるに至り、特に露國革命以來、國民の講和を望む聲も漸く高く、同時に民主的思想が國內に蔓延するやうになつたのである。乃ち以上の結果として

▲官僚の權勢が　漸次衰ふるに至り、之に反して政黨の勢力は漸次盛大となるに至つた。而して政黨員を政府當局に任用する傾向が生じ來り遂に漸次社會黨員まで大臣となるやうなことに立ち至つたのである。次に近因としてはボルセビスムの感染といふことである。乃ち昨年來物資の缺乏はいよいよ甚だしく、社會黨の政府攻擊をして益激烈ならしめ、國民の不滿を募ると共に民主的氣運旺んとなり、社會主義的思想に對する國民の感受性が漸く銳敏となつて來た時に際して、露國に於ける

▲過激派の擡頭　は人心に少からぬ暗示を與へしものゝ如くである。又東部戰場に居たところの獨逸軍隊の如きは、既に戰線に於てボルセビスムに感染して居たものだと云ひ加ふるに露國のボルセビキ一派は暖民主義を宣傳せんが爲め私かに獨逸に人を送つて國民を煽動した形跡がある等實に革命を爲した最大原因と謂ふ事が出來るのである。それから亦本年春の西部戰線大攻勢失敗が大なる原因を爲してゐることも明かなことで、其の

▲失敗の結果は　獨國民の講和を望む聲を益高め民心ははなはだしく不安に陷つたのである。然れども其の戰勢は至險に於いては敗戰といふ程では無かつたけれども、終局の勝利に對する不安は國民一般の懷かざるを得なかつた所であらうといふことは明かに想像されるのである。而して此の戰ひに對する不安は、實際生活上の窮乏と相俟つて當局に對する不信となり、特に盟國の脫退以來國民は講和を望むことを倍す急になり國內の形勢漸やく危險の兆候を呈するに至つたのである。時の宰相たるヘルトリングは恰も軍閥と國民との間に板挾みとなつたやうな形になり遂に進退谷つて

▲十月初旬辭職　しマックス公宰相となつたのである。而して彼は宰相となるや、先づ憲法を改正し、社會黨員シャイデマン及び中央黨より二名を入閣せしめ同時に米國に對して講和を提議したのであるが、此時は既に遲かつたのである。乃ち米國と講和に關する交涉を重ぬるに從つて、ウイルソンの回答は愈々益々强硬を極むるに至り、結局『純然たる憲法上の立脚地を保證せられたる獨逸人民の眞實の代表者以外とは商議を開くこと能はざる』旨を繰返す等暗に

▲獨帝の退位を　迫つたのである。然るに獨逸は人心の變轉と物資の窮乏とによりて最早戰ひを續けることは出來ない有樣である。然し乍ら講和を爲さんとするには獨逸を根本的に民主化の外なく、然もウイルソン大統領に依賴するの要あるを知り、終に憲法改正、皇帝の退位等を社會黨より唱へるやうになつたのである。此の事は他の政黨も、感情の險惡なことを知つて居るが爲めに反對しなかつたのである。

◎朝鮮拓殖輕鐵計畫　資本金壹千萬圓の事業

慶尙北道金泉郡金泉面に於ける內鮮人有志者は本年六月頃より金泉を起點とする輕便鐵道の

▲敷設の企畫　を爲し此目的を貫徹する爲め南鮮輕便鐵道期成同盟會を組織し種々目的の達成に努むる所あり內地方面に於ける有力資本家の後援を求むる必要を感じ本年八月金泉有志家渡邊恭太郎氏東上在京實業家藤山雷太氏外數名と折衝の結果贊成を得て愈々協議まり著々準備の進行したれば渡邊氏歸鮮直ちに總督府に出願し同會社計畫が目論見書に依れば右會社は朝鮮に於ける輕便鐵道を敷設し一般の運輸倉庫業並に拓殖事業其他之に附帶する業務を營むを以て目的とし資本總額一千萬圓朝鮮拓殖輕鐵株式會社と稱し本社を京城に設置し其の事業は鮮內開發に資するを以て朝鮮總督府より資本金に對し[illegible]日より十箇年間年七步の割合を以て利益配當の保證を受け尙借入金に對しても資本の總額まで拂込金と見做され同樣補給を受くるの特權を有する者とし總延長は

▲二百八十六哩　五分にして原動力は蒸汽を用ひ軌間を二呎六吋とせり而して起點經過地終點及び各區間哩數左の如し

△金泉安東線　金泉（起點）尙州、咸昌、醴泉、安東（終點）
△成歡洪城線　成歡（起點）温陽、新昌、禮山、洪城（終點）
△沙里院海州線　沙里院（起點）載寧、海州（終點）
△中和遂安線　中和（起點）祥原、[illegible]、遂安（終點）
△鎭南浦温井里線　鎭南浦（起點）江西、廣梁灣、温井里（終點）
△孟中里温井里線　孟中里（起點）博川、寧邊、雲山、温井里（終點）

▲線路各區間及哩數
第一區　金泉安東間七十二哩三分
第二區　成歡洪城間四十四哩九分
第三區　沙里院海州間四十五哩四分
第四區　載寧、安岳間十二哩六分
第五區　中和遂安間四十八哩
第六區　鎭南浦温井里間十七哩三分
第七區　孟中里温井里間四十六哩

因に建設總豫算一千萬圓收支總豫算は收入年額百四十三萬九千八百八十三圓支出年額六十八萬三千三百九十四圓と爲せりと

◎兩行引繼終了

新義州馬山兩地に於ける朝鮮銀行出張所行務の殖産銀行引繼ぎは十四日より十五日に亘り圓滿に結了したるが引繼ぎ數字は殖銀より鮮銀へ拂ひ新義州十五萬四千二百圓馬山は受け四萬五千餘圓なり右は預金貸出しは素より不動産その他凡の評價を差引せし殘額なりと

◎仁川期米下押

內地朝鮮共通米漸增に連れ諸地相場は軟調となり期米市場は漸落の步調を辿るに至れるもの如し乃ち十六日仁川期米前場の先限は當附三十一圓三十錢引値三十一圓十五錢にて後場も弱き模樣なり

◎東京支店成績　金融界の緊縮　韓相龍氏の談

東京支店新設のため東上中なりし漢銀專務韓相龍氏は十五日夜歸任せしが其の談に曰く
一般の御援助により東京支店も豫期以上の好反響の下に開店するを得たり予の東京を出發せし十二日までに預金の總額百三十萬圓に達し貸出は尙ほ多く語るべき數字なきもコールの放出は若干あり＝東京の金融界は十日を過ぎてより一段の緊縮を呈したるやの觀あり乃ちコールの如き短期物ながら二錢六七厘を呈するに至れり歲末の切迫と商界の變調如何により向一段の緊縮を見るやもはかり難し尙もこの現象は銀行に於ける手許資金の逼迫より來るものに非ず戰後反動の警戒氣構へより來れるもの如し

○高尾領事通過　高尾南京領事は十六日朝安東通過內地に向へり（安東特電）

○嶺木氏旅行　鑛業家嶺木青次氏は咸鏡南道各地に於ける所有鑛山巡視の爲め十七日出發越年は多分利原[illegible]鑛山に於て爲す事となる可しと

人事消息

▲横山直道氏（鮮銀理事務局長）新義州より十六日歸任
▲福井武二郎氏（新安州鐵業家）入京中なるが十七日朝北行歸安
▲新川留次郎氏（總督府鐵道局工務課長）來る二十九日頃より約三週間の豫定を以て慰勞の爲め出張
▲鶴見總督府事務官　久しく入院中の處十五日午後九時十分南大門驛發列車にて歸任せり
▲松本代議士　十六日朝安東通過內地に向ふ（安東特電）

八面鋒

◇由來內地在住者が、朝鮮の事情に疎きは甚だ遺憾とする所なり。
◇食糧政策に就ても、ヤレ關稅の撤廢を行ひ、ヤレ外米の輸入を自由ならしめよ、支那の防穀令を撤廢して生産過剩にある、支那米を輸入するの方法を講ぜよのと、騷ぎ立つるばかりにて一つも朝鮮に着目する者無きは如何。
◇外米の輸入を、自由ならしむるも、支那の防穀令を撤廢するも、共に結構なる考へなるも、其効果如何が第一問題にはあらずや。輸入稅を撤廢して見た處が、折角輸入されても、柴貢は、本年は米作不良にて、思ふ樣に米は輸入されざるに非ずや。
◇支那の、防穀令撤廢に至りては傳來至難の事と見ざるを得ず。假令左樣容易く解除されても、支那の人民が默つて居るや否や。之等の考へは、結構は結構なるも、俱に他人の懷中を當てにする、頗る怪しい越鄕結構にて、向ふから外れるの心配あり。
◇翻つて朝鮮を見よ。本年の輸移出米二百萬石に及び來年は三百餘萬石の輸移出力を有するに非ずや。恐ろしく集約的となれる、內地の增田計畫を建つる前に、此の朝鮮の未墾地開墾計畫を建つる方が、より以上に、必要且つ有利なり。
◇朝鮮も來年度より、獨立財計と爲るべきを以て、經濟の關係上開墾方面にのみ、力を用ひる能はざる可し。然もならぬ中より、莫大の補給金を支出して、此の鮮事業を獎勵すると云ふ貸借入金の使途を、開墾水利の方面にも擴張し、內地の增田計畫の恩典を受くるに至らば、食糧問題も他人の懷中を當てにせずして、解決せらるべし。
◇內地の者も、此際朝鮮米と外米とを同樣な劣等米視する謬想より覺醒して、朝鮮に對する輿論を喚起して貰ひたきものなり。

法人登記

開城金融組合ハ大正七年拾貳月五日目的及區域ヲ左ノ如ク變更シタリ
目的
一、組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲メニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲ニ産業上必要ナル材料ヲ貸付シ若ハ共同購入ヲ爲シ又ハ組合員ノ委託ニヨリ其生産物ヲ販賣スルコト
四、組合員ノ爲ニ其生産物ヲ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト
五、組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト
六、朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其業務ノ媒介ヲ爲スコト
七、地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
區域　京畿道開城郡ノ內、中西面、南面、松都面、北面、嶺南面、青郊面、東面、進鳳面、中面、大聖面、上道面、臨津面、興敎面、光德面トス
右大正七年拾貳月拾參日登記
京城地方法院開城支廳

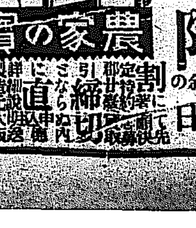
金融組合登記公告
鐵原金融組合ハ大正七年拾壹月貳拾八日臨時總會ノ決議ニ依リ目的ヲ左ノ如ク變更シタリ
一、組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲メニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲ニ産業上必要ナル材料ヲ貸付シ若ハ共同購入ヲ爲シ又ハ組合員ノ委託ニ依リ其ノ生産物ヲ販賣スルコト
四、組合員ノ爲ニ其ノ生産物ヲ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト
五、組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト
六、朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其ノ業務ノ媒介ヲ爲スコト
七、地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
右大正七年拾貳月拾日登記
京城地方法院鐵原支廳

[illegible]金融組合ハ大正七年拾壹月二十八日目的ヲ左ノ如ク變更ス
一、組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
二、組合員ノ爲メニ預リ金ヲ爲スコト
三、組合員ノ爲ニ産業上必要ナル材料ヲ貸付シ若ハ共同購入ヲ爲シ又ハ組合員ノ委託ニ依リ其ノ生産物ヲ販賣スルコト
四、組合員ノ爲ニ其ノ生産物ヲ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト
五、[illegible]
六、朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ代理シ又ハ其ノ業務ノ媒介ヲ爲スコト
七、地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト
右大正七年拾貳月拾四日登記
京城地方法院廣州出張所

●落てる金を拾わんか　女小供老人でもスグ其日から金になる思ひも寄らぬ大金儲
野生藥草發見
採收新事業教授　無資本多大收益請合
需要無限一人でも百圓千圓を得るは難事でない他の類似事業の如き一年二年後でなければ金にならぬ迂遠ありふれた事業と全く違ふ目下最高價利用也百利を獨占するは此の際也東京市牛込區通寺町廿二東洋藥草園へ申込めば發見採取法・販賣取引法・利益計算方法等詳細案內無料送呈

ラーヂ萬年筆（登錄商標）

男子用壹圓五拾錢より拾金圓迄
婦人用金貳圓卅錢より拾金圓迄
宮內省御買上　各宮殿下御買上
東京市日本橋區通油町　文房具問屋學習院御用　酒井長次郎商店
到る處の文房具店にあり

細機貸附　二錢　余の日
千歳號


[illegible]

第二十四回決算公告
一資本金　壹百萬圓
一諸積立金　[illegible]
一保險契約高　[illegible]
一創業以來支拂タル保險金　[illegible]

貸借對照表

資産	
未拂込株金	七五〇、〇〇〇・〇〇〇
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
不動産	[illegible]
什器	[illegible]
未收利息	[illegible]
未收保險料	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
假拂金	[illegible]
合計	八、六一六、〇二四・二八一

負債	
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
保險契約責任準備金	[illegible]
未拂保險金	[illegible]
配當準備金	[illegible]
株主配當金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金　一金五萬參千七百七拾圓拾參錢七厘
之ヲ處分スルコト左ノ如シ
法定準備金　參千圓也
株主配當金　貳萬圓也（年八朱）
[illegible]

右ノ通ニ候也
大正七年十二月廿八日
共保生命保險株式會社
取締役社長　堀貞
取締役　[illegible]
監査役　[illegible]

追テ本會社ノ配當金ハ[illegible]

年度	配當
明治四十年度	[illegible]
同四十一年度	[illegible]
同四十二年度	[illegible]
同四十三年度	[illegible]
同四十四年度	[illegible]
同四十五年度	[illegible]
大正元年度	[illegible]

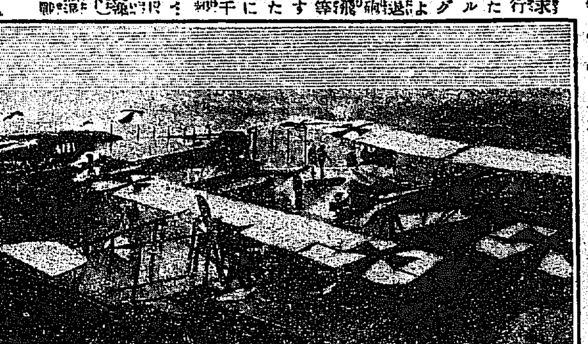
大正七年七月一日改正現行

★對獨休戰期間滿了の日

(十二月十七日)

空中及地上に於ける戰鬪行爲を休止して

聯合國の要求は完全に實行せられて來た即ち白耳義ルクセンブルグ及び佛蘭西より速かに撤退すること重砲大砲機關銃飛行機の提供等は既にそのすべてを了したらしく解判に依ると飛行機二千の引渡しを約じてゐる……寫眞は(上)引渡された獨逸の飛行機(下)は獨軍の撤退した佛國の戰禍の村



○國富の三分の一

を靡した歐洲大戰亂の戰費

◇……休戰期間滿了の日の回顧

戰死者八百五十一萬人

過去四年間七主要交戰國が全然戰爭の目的に費消したる金額は約一千三百八十億弗と概算せられ米國革命戰爭後六十年間の各戰爭の戰費合算額二百三十億弗に比し僅に四箇年の間に其の金高の六倍の多額に達した即ち主要交戰國の總國富の約三分の一に達し四箇年間を平均したる一日の戰費は約一億七百五十億弗で毎一時間四百四十七萬九千弗に當れる勘定である是等の驚くべき戰費は交戰國各國をして戰前の **國債總額の** 六倍に達する國債を增加せしめ其額既に千二百九十億弗の巨額に達し平均五分の年利を支拂ふものとせば主要交戰國は年々六十五億弗の利息を支拂はなければならぬ交戰諸國は以上の如く莫大なる金額を費したるのみでなく其の **侵略地域に** 於て恐るべき破壞を蒙り之が恢復には絶大の努力を要すべく中には全然回復し得ざるものあるも千九百十六年迄の之等損害の調査は左の如くである白耳義に於て破壞せられたる物及び工業用器械は十億弗であつて佛國では七億弗に達した農産工場及び農具、原料品穀物及び家畜等の蒙りたる損害は白耳義に於て七億八千萬弗、佛國に於て六億八千萬弗に上り **鐵道橋梁等** の破壞に生じたる損害は白國に於て二億七千五百弗、佛國に於て三億弗の概算であるセルビア、波蘭、クルランド、ユアノ、ヴィルナ及びグロドノ等の諸損害は個人の住宅、農場及び農機具工場及び機械工業用原料品及び在庫品鐵道國有並に私有財産等を合して概算八億七千五百萬弗に達し **巴爾幹半島** の損害は約二億弗である獨逸、墺匈國等の損害は不明である而して開戰當時より千九百十八年八月一日に至る迄の聯合國及び中立國の船舶喪失は千五百萬噸の多きに達し此の喪失船舶を戰前の價格にて評價するも其の損害は十億五千萬弗の巨額に達する夫から戰爭の爲戰死したる **兵數は八百** 五十萬九千人であつて永久に治癒せざる負傷兵は七百十七萬五千人を算し兩者の合計は千五百六十八萬四千人に上つてゐる而して之等の戰死及び負傷の個人の經濟的資本價値を米國を除き英、獨、佛、露、墺の五國平均資本價値二千八百九十二弗とせば實に四百五十億弗の損失を蒙つ譯である

◇東宮殿下 聯合國 御訪問

東宮殿下には明年三月中旬軍艦『鹿島』『香取』にて御見學の爲め聯合國を御訪問あらせらるゝ樣御內定ありとの噂あり當局者は右は未定にて何時御派航とも斷言する能はずと語れり(東京特電)

◎安東縣近事

◆徐中將の通過 內地の大演習觀[illegible]

店は日進月歩の勢ひを以て業務發展の爲め既に家屋の狹隘を告げたるを以て一月初旬[illegible]

後四時散會せり

◆軍人分會寄附 帝國在鄕軍人會[illegible]分會に對し金二十圓矢野久[illegible]

◆組交會忘年會 安東民團役所吏[illegible]

テ去月二十六日襲來し飼育の牡牛二歲一頭を咬殺して逃去したりと

訓導稻月茂氏は今般平北龍川郡南市普通學校長に榮轉したり因に在[illegible]安東縣有志は記念の爲め餞[illegible]

一名(鎭等三十八名)野村久八外[illegible]

□方子女王殿下

純日本式の御和裝輝く許りに

王世子殿下を迎へて

☆――雪の佳宵を御睦まじく

澁谷の梨本宮邸と鳥居坂の李王世子邸では、方子女王殿下と王世子殿下の御婚儀が勅許せられて以來、歳暮ながら早や春の日の喜びを **★迎へた** 如に賑はう事なるが、去る十一日の雪の日には午後六時から、王世子殿下が高事務官以下十名程の隨員と共に、梨本宮邸に成らせられ、梨本宮及び妃殿下並に方子女王殿下と晩餐を共にせられた、この日方子殿下には純日本式の御和裝輝くばかりに御美しく、王世子と一時間餘り **★御會談** あり殊に邸內の雪景色は、この夜の御會合に一層の美しさを添へ、御一同はいと晴やかな宵を過ごされた、また翌十二日、方子女王殿下には昨日にも增した御和裝美しく御兩親殿下と御同行、南部事務官御用係以下を隨へさせられ、鳥居坂李王 **★世子邸** にお成りあり前夜と同樣なる晩餐を共にせられ、同八時歸邸あらせられたと承はる尙ほ御婚儀は一月廿五日の事と報の通りであるが同日は午前に御擧式の由御內定あつたと(東京)

○日淨尼 參內

十二日入京したる村雲瑞龍寺新法嗣日淨尼は黒染衣に五條の袈裟を掛け村雲尼公と共に自動車に同乘し宮城坂下門より參內御內儀に進み皇后陛下に拜謁仰付られ御機嫌奉伺の後御下賜品の御禮並に滯りなく得道式終了の趣きを啓上し陛下より種々有難き御沙汰を賜はり又村雲尼公にも拜謁仰付られ御機嫌を奉伺し恐くて日淨尼は村雲尼公と共に御前を退下し同正午退出したり(東京)

○休戰前最後の 犧牲船 生存者歸る

平野丸の十九名

休戰條約成立前最後の犧牲船となりし日本郵船平野丸の生存船員渚田一等機關士以下十九名を倫敦より乘組ましめて歸航の途に就きたる條船丹波丸は愈來る廿四日神戶港に投錨すべく決定せり

○戰術練習施行

十五日より來る廿二日迄江景附近に於て內野第四十旅團長統裁の下に同旅團(步兵)上長官以上の現地戰術演習を施行せるが大野軍參謀長大塚軍參謀非伊副官は視察の爲め出張せり

○チェック 軍樂隊

感謝の來朝 ◇『西伯利の花』

十三日門司に入港した筑前丸は西伯利の花と謳はれたるチェックの軍樂隊一行を乘せて來た、一行は何れも名手揃ひでヴァ井オリンの名手ツイッド、ヤッセッズ、セイカル、チャック、チユニッドにセロの名手ドクトル、クルグ夫に洋琴の名手カイグルの七名でカイグル氏は花のやうな若い夫人を同伴した一行は同道した岡田大尉と共に午後七時十分下關發の列車で東上した一行は『君國の赤十字西伯利派遣隊の活動と其同情を深く感謝する爲態々來朝しました、横濱と東京とでチェック軍特有の音樂演奏會を催し其收入全部を貴國の赤十字社に寄附したいと思つてゐます』と(門司)

○獨語使用を禁じ

佛國旗に敬禮すべし

メッツ(獨逸兩部の要塞地)來電=去る七日の騷擾中獨人商店は窓硝子を破壞され且つ商品を掠奪されたり佛國官憲は獨人の犯罪に非常手段を執り一般に獨逸語の使用を禁じ佛國々旗に敬禮す可き事を規定せり(東京特電)

○ウォルフの 俘虜

五百名解放さる

桑港來電=コペンハーゲンよりの報道に依ればウォルフの爲め俘虜となりたる聯合國海兵船員其他五百名は獨逸より解放せられて丁抹に送られたり(東京特電)

○梁起鐸を受取りに

◇東警部大連へ

十五日夕刊所載の寺內前朝鮮總督の暗殺陰謀を企てたる鮮人梁起鐸及び張鎭守の兩名が排日運動を試み天津に於て捕縛され同地沼野總領事の手より大連に押送されたる旨を報道せしが同人受取の爲め警務總監部高等警察課東警部は過日大連に向け出發したるが歸著の日時は未定なりと云ふ

○三星丸 沈沒

全員行方不明

(屍體一個漂著す)

黃海道大青島北端五丁餘の淺瀨に於て汽船第一三盛丸(約五百噸)は沈沒し船體破壞せられ乘組員全部行方不明となりたるが內一名の屍體漂著し同人は藤村岩太郞と稱するものなる事判明せり右汽船は本月十三日午後十時頃 **◇非常汽笛** を鳴らしたるが救助されず翌日午前九時に瀨見したる旨十五日午後大青島仁川稅關出張員より仁川稅關へ無線電信を以て報告あり十六日再び稅關長に宛て風浪高くして船體に近づく事能はずと報告あり同時に出張員は白鵬島駐在所に通知し警官の來島と共に極力之が搜索を爲しつゝあり船體の破損部分其他の漂著品多數あれど積載貨物は未だ一個も **◇發見する** に至らず航路經由地等も不明にして漂著せる一個の屍體を發見せるのみなり(仁川)

○凱旋艦『矢矧』副長

以下二十餘名歸還の途

上 惡感冒に斃る

吳鎭守府の快速巡洋艦矢矧は本年三月吳出發地中海方面にて大活動を爲し既に凱旋の途に就き去る[illegible]日新嘉坡を發したるが乘組員多數惡性感冒に襲はれ副長曹門中佐を始め下士卒二十五名死亡し重症患者三十名輕症者百名以上となり爲め馬尼拉に寄航し重症患者はコスモポリタン病院に入院せしめて艦內の大消毒を爲せるも遂に五百の乘員中七分迄侵され陸上の醫師不足せるより馬港に在る軍艦秋津洲に救護方を依頼し同艦は直に急航したり矢矧は十九日歸著の豫定なるが吳鎭守府長官より見舞の電報を發したり尙馬尼拉にては感冒の爲め人口の二割死亡せりと(吳)

▽副長の家 四人の子

◇昨年迄鎭海に居た

流行性感冒に襲はれて凱旋航中に死亡せる軍艦矢矧の副長曹門卯之助中佐は大阪南區鰻谷仲之町仲買業曹門常七氏の實弟にして明治三十四年海軍兵學校卒業本月一日中佐に進み位階は從五位勳四等功四級たり妻女民子(三一)と副長の自宅なる府下東成郡鶴江村字千艘一番地に訪へば半疊座敷の床の間には亡き人の凛々しき正裝の寫眞を掲げ其の前には香煙縷々として立ち上る妻女は些の取り亂せる態もなくしめやかに **◇悲しい** 知らせは十日の夕べにありました、[illegible]宅の方へ通じては遺族が心配するとの事で[illegible]信とやらで知らされました、恰度昨年の八月頃鎭海から此處へまゐり十九日に矢矧に乘り組み出立しましたので子供は一男十一歲、仲子八歲、正三五歲、まさ子二歲の四人ですがこの三月に[illegible]にしまひました、主人は[illegible] **◇最後は** 十一月十二日の發信で『昨夕休戰條約調印なりたる由承知致候本船は多分來月下旬に歸港いたすべく候』とありましたのに先振ればかりでこうく歸らずなりました……』(大阪電信)

○海賊鐵を盜む

上海で三菱の汽船から

三菱の某汽船は上海碇泊中船鐵數十噸を海賊の爲め盜難に罹れり(上海特電)

○土工の轢死

滿洲立山にて

十二日午後十時廿分頃原籍島根縣簸川郡久木村生れ當時滿洲立山假市街相川組土工にて五十嵐增一(推定年齡廿七八歲)なるもの立山附屬地より假市街に通ずる仲間鐵道踏切に差蒐りしと見る間に雪分暗闇なる爲め鐵道踏切番人も之を制止すべく餘地なく上の貨物列車が突進通過するに見されて下り列車の進行し來るに氣付かず突然首に巻附けあるタオルに機關の一部が纏ひつき引殺されて頭蓋骨を打碎かれて即死せるが同踏切番人の急訴によりて憲兵の上同居者宮任某に引渡されたり(鞍山發)

○故鈴木校長の 遺族育英 を申出づ

淺松太郎氏の特志

仁川海岸町一丁目三巳仲買店主淺松太郎氏は壯烈の最後を遂げたる故鈴木校長の殉職に感じ遺族の境遇に同情する點勘からず今回二男忠雄氏の敎育に對し **◇將來充分** の盡力をしたしと交渉方申出でられたり忠雄氏は目下京城中學校に在學中なるが同人に對する學資金は勿論被服食費に至る迄悉く之を引受けて秀才の育英に盡したく一は外に故人の遺志を繼がしめんとの義俠に出でたるものなりと珍らしき特志の士と謂ふべし

▽逝つた宅も 什麼に喜ぶ事でせう

……未亡人語る……

府の意を寄して龍山元町に故鈴木校長宅を訪へば夫人はしめやかに嬉香をなしつゝ語る『あの次男の忠雄を引取つて御心配下さいます事何うも有難う御座います私共遺族の者は無論逝つた宅も彼の世から什麼に喜ぶ事でしよう何うか御社を通じてそのお方に宜敷くお傳へ下さい子供達の事に就て何かと **◇向後の方針** を定めなければならぬと思つては居ますが何分何彼と取込んで居ます上に近日中に內地から兒も來ると云つて居ますから萬事兒が來てからの事と何度いと思つて何も彼もそれ迄延ばさせて居る樣な譯です此の事に就ては兒が來てから一應相談も致して見度いと思ひますから何うぞそれ迄 **◇御猶豫** を下さいます樣にお願致します幸ひにして御願ひする樣になりましてもそれ迄に本人の性質や成績等の點をよく御承知下さる事も必要かと思ひます次男が一番永くお世話になつたのは京城中學校附屬の淺野先生と思ひますその方に就て御調べ下さればよく分る事と思ひます』と包み切れぬ喜びの色を見せて居た

○大阪倉庫 火事

損害三十萬圓 後報

既報十四日午前三時四十分頃西區築港三條通四丁目市役所埠頭三倉庫より出火同倉庫及び南側稅關監視部の二棟(計百坪)を全燒し水上署築港埠頭巡查派出所及び三光組運送店中仕寄場を半燒して同五時三十分鎭火したるが大阪倉庫火事の後報によれば燒失したる市港灣部北第三倉庫は建坪三百七十四坪にて建物の損害は未詳なるが保險付十社に約二萬圓の保險に附しあり同倉庫には三菱、住友其他の所有に係る牛蠟、鐵屑、菜種、肥料籾殼等保管しあり此損害額約二十七萬圓にて何れも保險に附しある模樣なるも判明せず、建物及び在庫品の損害全部を合せば約三十萬圓以上に上るべし出火の原因に就ては目下市港灣部にても調査中なるが火元なる同倉庫には火の氣なく或ひは同倉庫內にて前夜仲仕が煙草を喫みたる吸殼を打ち捨たるものが附近の籾殼に移りて此大事に至れるものならんと

○大阪の春場所

十日初日 場所は千日前

大阪大相撲春場所は一月四日頃番附發表十日初日を出すことに決定し來る十五日御發祝ひを行ふ由今回の場所は新世界の國技館敷地目下建築中なるを以て從來の難波新地の千日前東裏手の場所を用ふべく勸進元は取締岩友、檢査役高田川の兩人なれば人氣盛んなるべし

◇……警察の窓から……◇

▲門松 森林保護の關係上年末の裝飾や新年の門松には成るべく幹木を以てせず枝木を用ふるやうにしたいものである。

(京城)サモワール會 露語

露語及び露國研究者を以て組織する同會にては露語講師陸軍翻譯官笠原幸藏氏が這回朝鮮銀行に入り哈爾賓へ赴任の事となりたる爲め十五日夜支那料理第一樓に於て送別を兼ね忘年會を催したるが來會者多數に上り席上笠原講師小田會長其他の氣焰虹の如く頗る盛會を極めたり尙ほ今回露語研究會員本町露語研究所員等も同會に入會の事となり近く役員改選を名譽會長に推戴すると共に將來朝鮮に於ける露國研究の一機關たるべしと因に一般入會希望者は京城永樂町二丁目榮進行內サモワール會事務所宛申込まるべし

○桝を…… 誤魔化す

◇不正商人の取締

近來秤量を誤魔化す奸商多きことは厩耳にするところなるが年末に際し客筋よりの註文激增するに乘じ斯かる奸手段を以て暴利を貪らんとする奸商に對し警察官憲にては日時を豫告せずして計量の檢查を爲し不正手段を採りたる奸商の取締を爲すと同時に彼等に一大痛棒を加ふべしと

○曹洞宗觀音講 若草町曹洞宗別院にては十七十八の兩日午後七時より觀音講を催し法要の後に說敎ある由

雪見酒

十四日の晩去る銀行へ一寸七八人宴年の[illegible]飛込んだ、所が前以て注文んで[illegible]たものさ見て飲むのは[illegible]けでお話へが出ると直ぐ膳をりくり返すやら皿小鉢を庭先に投げるやら▲散々狼藉を働いた揚句の果は、一同仲居部屋へ飛込んで箪笥の抽斗から[illegible]引き出して鍼だらけにした上[illegible]湯氣を被つてプレーく▲惡戯にしては尙り御念が入り過ぎた、帳場の親爺は湯氣を立てゝ怒つた相だが是ちや怒るのも無理はなからう▲羽目が一つ[illegible]月い寒いでお客から肩を拔かれた、さ云つて色の懸のと云ふ艶つぽい沙汰からではなく、お客が右から『此方へ來い』『イヤ此方へ來い』と引張り合ひをして居る中についスボンと拔けたのだ▲藝者は悲鳴を揚げる、お客は昂くなる、歡樂の悲は怒ら白け返つたが拔けた肩は聞いなく急報によつて驅け付けた瀨戸院長の手當により首尾好く元のスッポにオンさまつて候

灯と鬼

十五日の朝鮮獵友會納會に參會した小林病院長曰く大きな雉子二羽を撃ち損つた時は銃を投げ出して愁嘆したそ之を聞いた側の天狗曰く逃げたものは大きいよ▲すると池田信太郎君が何うだい數多大天狗の中でも殺さずに擊ち取るといふ豪語は出來まい吾輩はそれをやつたから豪いだらうとハンケチに包んだ生きた鴨を御覽に供すると隅の方から聲あつてそれは擊ち損じて生きたのでゴザイ、ナール程道理で片方の羽が折れて居る▲瀧川君は學高々と何と云つても今日の獲物の大きいのは吾輩だらう約七貫目の猪を美事擊ち止めたからネと披露に及ぶと何にそれが七貫目もあるものか六貫だ五貫だ四貫だ遂うく三貫に値を落されて高い鼻が二つにほつきり……

天氣 曇

(十六日午後六時より十七日午後六時迄) [illegible]

御歲暮には 白砂糖を……大和軒 京城本町 電話四八九番 俵賣りも致します

日本優等清酒 攝津灘 花木本家釀造

フクムスメ 特約販賣京城 島屋本店販賣部 電話九〇三番・二三三〇番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇・二七二九番

荒卷鮭各種 外 店製奈良漬各種 本場みかん 季節品一切 右產地入荷品及店製利口品有之候間御用命願上候 食料品問屋 京城旭町市場 刈川西商店 電話長一三六七番・振替京城一番

醬油之大王 キッコ 龍 ーリウ 仁川 日本醬油株式會社

內科 小兒科 入院應診 小林醫院 京城旭町一丁目(電話九六二番) 院長 醫學士 小林千壽 副院長 東北醫學士 戶川武 永登浦分院長 醫師 久保廣次

れり

◎滿洲商業增築 滿洲商業銀行本…一時半より公會堂に於て例會を開き諸種の協議餘興等あり午…

▲ヌクテの被害 平北昌城郡昌城邑內坪洞姜寧祝方に一群のヌク…の意味を含みたる盛會なりしと

▲稻月訓導轉任 安東縣普通學校…

新藥店を賑へ灯に町は賑へり

◎新春を迎る商家の窓飾り

ちよッとしたところに色々の機微がある

新しい年を迎へるには自から新しい用意がなければならぬ、然るに從來の飾窓について見ると單に新年の祝意を表したものが多く商品に關係のあるものは甚だ少かつた樣である、例へば茲に一の呉服店があるとする、さうすると此呉服店の飾窓には謹賀新年の文字や松竹梅の如きものが飾られるが呉服類は一點も出してないといふ樣な店を往々見受ける、これでは商店の飾窓として頗る

◆面白くない許でなく◆飾窓としての目的が達せられてゐない飾窓は飽まで飾窓として其目的を達したいものである、即ち行人をして其前に立ち寄らしめ不用意の中にそこに飾られたる商品に對して購買心を誘ひたいものである、故に飾窓には是非とも其店の扱ふ商品を本位としなければならぬ、唯問題とすべきことは季節である、如何に商品を適當に巧妙に飾つたところでそれが季節に適はしいものでなかつたならば

◆折角の考案も何等の◆效果を成さない、即ち季節の重んずべき所以である、新春には新春に適はしい飾窓が必要である、然らば新春に於ける飾窓は如何に設計すれば良いかと云ふと先づ商品を本位として飾迄新春の氣分を出すことである、それには正月の晴著を飾りたいと思ふ、併しそれを漫然とならべたゞけでは面白くないから

◆家族的に裝飾したい◆即ち主人の禮裝、主婦の晴衣、子供の衣裳といふ具合に陳べたいそして種々の雜貨品を配らつて全體の配置を引締めたい、尤も一口に雜貨品と云つても種類の多いことであるから無暗に飾る譯にはゆかない正月に最もよく用ゐられる物でなければならぬ、而も此のマキシマムに飾窓の主體たるべき正月の晴著と一致すべきことは云ふまでもない次に

◆一般の飾り窓として◆意見を述べることそれは從來大商店の飾り窓といへば大抵購買力の比較的大なる階級の人々を對照した高價な品が多く列べられてゐたがこれは一考を要すべきことであると思ふ要するに

◆飾窓は飽くまで飾窓◆として目的を達すると同時に商店の利益を計らなければならぬといふことに注意するのである

◎田子布炭坑

◆滿洲溪城鐵道の奧◆

今回佐賀縣富豪深川氏によりて採炭着手せらるべしと噂されつゝある田子布炭坑に就き某消息通の語る所を聽くに左の如し（奉天）

該炭坑を深川氏が經營すべく決せる如く傳へらるゝも未だ其眞相を知らざる者の揣言にして該炭坑の經營の權利の第一は大倉組にあり第二は大連石本氏にあり而して大倉組は深川氏の人物を信頼して……即ち所謂權利讓にあらざる旨を條件として……深川氏に厚意をよせ第一權利を讓り渡したるものなれば向後石本氏が第二の權利を全部讓り渡さゞる非ありても深川氏に於て全然經營に對して誠意を缺くに於ては曾つて讓り渡したる權利は再び大倉組の手に復歸すべきは勿論なり而して該炭坑は溪城鐵道を更に三十餘哩延長したる奧地なれば輸送上の困難より延いて經營上に多大の障礙を來さんを慮るものなるのみならず目下深川氏は該炭はコークスとして非常に有利なるを以て鞍山製鐵所などにて盛んに利用さるべしと信じつゝあるもの、如くなるが元來其の礦區は決して狹少にあらざるも炭層にて疑問とせざるべからずされど目下の滿洲炭界に於ては有利有望なる炭坑たるを失はずされば本炭坑には優に二百萬圓以上の投資を投ずれば相當なる成績を擧げ得べく又埠頭機關にも尠少ならざる運用を要するなるべしと尙ほ語を續けて曰く近來滿洲に於る木業志願者中全く內地人を無視し只管支那人側とのみ交涉し此方面に於て成功すれば事足れりとなす風あるが如し勿論支那側との交涉圓滿を缺くは極めて忌まわしき事には屬すれども一面內地人側をも十分顧慮し其交涉を忽諸に附せざる樣十二分の注意を要す是れ獨り邦人の滿洲發展上に於ける重大事件にして當局は勿論各個人の尤も留意を要する所なりと

◎埠頭の作業

山內安東驛長談

安東埠頭に於ける水切堆積作業に非難の聲高き事は過日の本紙の報道した通りなるが是に就て山內安東驛長の語る處を聞くに水切堆積作業に就て多少遺憾の點あるべきは當の責任者たる予の知らざる處にあらざるも一部の人士の言ふが如き非難ありやは疑ひなきを得ず何となれば直接利害關係を有する當業者よりは未だ予の許に何等正式の交涉を受けたる事なく荷くも滿鐵及び其の下請負人の行動にして不信の點あらば當業者進んで正式の交涉あるべき筈なりと觀ずれば埠頭の水切堆積は目下山形組の獨占なるが其の非難不平の聲は何人をして其の任に當らしむるも根絕し得べきものとは信ぜられず又其作業は一部論者の稱ふると云ふ下請、中請、下請等の二區又は三區に區分して分擔請負して居るが如き事は却つてより以上の弊害を醸生するや論なし山形組との請負期間の選に就ては常に苦心慘憺たるものあるも山形組は自ら手を引くべしと稱し居る位なれば引繼ぎ山形組をして繼續せしむるが如き希望者は甚だ多きが如くも其の請負者が適任なりや否やは頗る愼重の考慮を要すべし元來現在の賃率は物價騰貴の最高潮以前に制定したるものに三割方增加したるものにして當時山形組は五割增を要求し當局も亦之を是認する處ありしも材木業者は一時に急遽の增率を喜ばず三割に引き上げたるものなれば水切堆積料の現行率は決して高率と稱するを得ず猶且つ賃銀の高低により作業の順序を二三にするが如き事はあるべしとも信ぜられず要するに埠頭作業の下請負人の選定は頗る困難にして又下請人が一點の非難を聞かざるが如き事は或は不可なるべしと

◎平南聯合金融組合

既報の如く平安南道にては今回道內各地金融組合を聯合したる平南聯合金融組合を組織し十四日午後二時より平安南道廳に於てその創立式を擧行したるが式に先だちて理事長及び理事を推薦したるところ理事長に富永平南第二部長を理事に佐藤長五郎氏を推薦し午後五時閉式し引續き午後六時より平壤の重なる官民有志五十餘名を大同館に招待して本組合の成立披露宴を催したるが出席者には工藤長官、鳥山法院長、關口檢事正を初め總計五十六名あり開宴に先だち富永理事長は本組合組織の趣旨を述べて招宴の挨拶を爲し鳥山法院長は一同に代りて謝辭を述べたる後平壤檢番の各藝妓の斡旋により一番を擧げて歡談暢語し非常の盛況を呈し午後九時解散したり

◎安東の製鐵業

六道溝に於て

安東縣四番通り六丁目熊谷鐵次郎氏は本溪湖の伊藤豐吉氏と共に六道溝に製鐵工場建築中の處旣に設備完成したるを以て目下旣に鑄造に着手したるが其の原料は平北從城の鐵鑛より採取するものにして現在は一日一噸の位製品に過ぎざるも將來は業務の進展に伴ひ約五十萬圓の株式會社と爲すべき計畫中なりと

◎奉天銀行開業期

去る十日創立總會を開催したる奉天銀行は開業準備の爲め進捗中なるが多分本月二十日頃を以て前倉庫社事務所にて開業の運びとなるべく來春解氷期を待ち新市街及び小西關方面の兩所に本店支店の新建築をなすべき方針なりと

…日午前八時著…一行…夫、山本長方、今村次吉、荒川…外人…

◎憲兵補充教育

既報の如く平安南道警務部にては今回內地より補充の爲め派遣せられたる憲兵上等兵二十名は去る十二日平壤に到着したるを以て十四日より向ふ十日間の豫定を以て目下教育中なり

◎解散せる奉天倉庫

去る十一月初旬を以て解散を議決したる奉天倉庫金融株式會社は爾來清算事務著々進捗中なるを以て遲くも明年一月下旬迄には全部を結了すべき豫定なりと

◎奉天と大倉組

合名會社大倉組奉天出張所は從來主任川本氏住宅の一部に於て事務を執りつゝありしが愈來春解氷早々より中央大街現總隆公司筋向ひの地を卜し事務所の新建築をなし引移るべき豫定なりと

◎平壤小學校の第三回唱歌會

可愛らしい樂みの集ひ

十四日平壤尋常小學校に於ては午前十時より第三回唱歌會を擧行せられた校長の開會の辭に次いで六學年男子全體の節面白き凱旋歌に始まり愛らしい尋常一年の折鶴の合唱ありプログラムは順次四十六當日集まつた保護者達を喜ばせた間まで合唱、獨唱があつて來賓や尋常一二年男女の可愛い聲で無邪氣な歌を歌ふかと思へばすぐ先生方の子供振を發揮した獨唱には皆に映じて云ふ可からざる感興を惹に先生のお心盡しがあり／＼と目ふ生徒の犬の唱歌は如何にも犬といた生徒の中で一年男の定永と云ふ女の子の歌つた雪の唱歌は恰も遊べるが如く見わ二年の鈴木と云等景色を見るの心地したそして小林先生のヴァイオリンと吉岡女先生のピアノ六段合奏は滿堂の聽衆をして肅然その妙技の神に入れるに感服せしめた梅津先生の詩吟乃木大將の『山川草木轉荒涼』と吟じ出したるところは節廻しと云ひ調と云ひ堂に乃木大將を偲ばした最後に職員生徒來賓一同起立して金剛石の合唱あり川添校長の閉會の辭に換ふる講評があつたが其の要旨は『今日の唱歌會は年々の唱歌會に比して其の成績の上がつて居ることを認める然し乍ら聞く生徒のお行儀が惡い昔は琵琶の歌を聞いて泣いた人があつた腹を切らんとした人もあつたそれは歌を聞くのでなくて歌の心を聞いたのである皆さんも唱歌する時又唱歌を聞く時に歌の心を聞く樣にせんければならぬ』と時に午後三十分閉會解散を告げた因に當日の來賓は

◎有益にして興味多かりし講演會

◆平安南道教育會主催◆

平安南道教育會にては毎月一回學術講演會を開催し居れるが十四日午後三時より平壤尋常小學校講堂に於て第三回講演會を開き平壤女子高等普通學校佐藤教諭の研究に係る『婦人問題』と題する講演を聽けり佐藤教諭は『婦人問題と云へば女子の社會上經濟上法律上の關係に於て說述するの必要あり隨つて是等の問題を說くに當り男尊女卑を原則とするや女尊男卑を原則とすべきや先決問題として論及せざるべからず』と述べ夫より歐羅巴及び亞米利加に於ける古今の哲學者並に生物學者社會學者等十餘名の學說を紹介し且つ種々の例證を擧げて說明し男女平等及び女尊男卑は孰れも當らざるの說なりと述べ夫れより婦人の職分に解き來つて『婦人は其の體質及び能力が女子の本分を盡し得る業務に從事するを以て正當の職分となす故に洋の東西を問はず男子は外に出て、働き女子は家にあつて家政に從事するは是れ即ち婦人の職分を盡するものにして女子が外に出で、活動するは是れ即ち婦人の副業なり』と結論せり同氏は叙上細目に亘つて講演せんとしたるも時間に餘裕なかりしを以て五時三十分講演を中止し篠田教育會長の挨拶を以て閉會を告げたり尙當日の聽衆は篠田一部長、松田府尹、赤木、田中、上野の各中等學校長並に小學校普通學校長其他學校職員新聞記者等百餘名あり尙次回は來月中旬頃催し平壤高等女學校理物擔任藤原教諭の『遺傳について』と題する講演あるべしと

◎西伯利亞にて諫早理事長客死

急性肺炎の爲

年來大倉組奉天營業部にては東門外…家を西伯利に派遣し專ら西伯利に於ける販路の開拓…の爲め調査の步を進めつゝありしが今夏來愈其方法を擴張し技師長等をも派遣したる程なりしが其內に同社技術部理事長の要職にあり且つ同社創立に盡力せし工學士藤原堪三氏も共に出張調査に從事中去九日ブラゴエチエンスクの奧地ゾーゼーヤに於て不幸急性肺炎に罹り客死せり時に年四十同氏は山口縣萩の出にして前途有爲の材なりしが惜むべし（奉天）

◎平壤に於て暮の街より

◆國家多事、有史以來の大戰も漸く終局を告げ吾人の忘れずからざる記念の年も將に逝かんとし歳晚の氣分漂ふ平壤の街より一筆啓上仕まつり候

◆本年は初春以來諸物價頓に弛緩し經濟界に甚大なる影響を及ぼし候も此が爲め米穀の市價暴騰し一般農家經濟潤澤なるを見候等の購買力は著しく增進致候かるに物價の變調激しかりしと一般商取引の手控へ頃には內地市場物價の總崩しを見るに至りたるを以て大なる手控へを爲すことなく概して景況…の商家もボツ／＼飾多くあるやに見受けられ先づ以て目出度き新春を迎ふるの準備整ひ候由慶賀の到りに御座候

◆平壤繁榮會の歳暮大賣り出しも愈十五日より開始され各商店の門戸には大賣出し何々商店と記せる紅白の大幟を樹て歳の瀬の氣分を發揮すると共に大に景氣を添へ居り候

◆尤も本年は一般物價の前年に比し騰貴せる點よりして賣出し期間內に於ける總販賣高は昨年より幾分の額に達すべく豫想を致し居り候殊に本年は何品を問はず上品の需要良好なれば或は豫期以上の成績を收む可しと樂觀の說に有之候

◆平壤商業會議所に陳列せる繁榮會の抽籤券と替景品も全部で八萬點は秩序正しく飾られ幸運兒の來るが今や遲しと期待の姿にて候が果して此福運を獲るは那邊の人に候や疑くは見物かと被存候不一

四方八方記

奉天にて 老禿生

十一日大連の鈔信託のゴタ／＼から近來金融が良いとか銀建が良いとか大分問題になつて來た樣だ中には法螺が峠に陣所をかまへて一方とも惡くはないがまだ早いと云ふ逃いと云つてる向もある▲一ッ般の銀建の是非善し論は疾うの昔に解決が出來てる筈じやると思ふがまだ滿洲では問題になつてるから堪らない抑も貨者と其物が時と場合によつて相場が極り上つたり下つたりなどするものが惡いものか此の位は解り切つたものだ▲所で只滿洲は舊慣に他に大した點も理由もあるまいではないか其の上滿洲の銀たるや世界の大勢につれて上下するのならばまだ差したる事もないが▲全然趣きを異にし滿洲一角に於ける局部の相場を演出するから愈々奇怪至極ではないか其處で水の低きに就くが如くに相場の上下により天津上海青島方面へ盛んに輸出されたり反對に同方面から輸入されたりする▲是れは單に一つの銀行業者即ち金融業者がカバーを取る爲めに行ふ計りではない一般の經濟の原則が是れに基づいて動いてるのだから仕方がない▲それとも是れがお嫌ひと御意遊ばすならば此等の各地と同一步調即ち世界の大勢につれた相場を立てゝ見るがよからうさうすれば今度の樣な事はあるまい現に此の頃では叙上各地から此の間の反對に盛んに輸入されてるではないか▲だが是れは矢つ張法螺ヶ峠たるを失はない議論でだ面白くないで一步を進めて物が動けば止まる處に停滞するものが生じて來る其の爲めに一寸よつて物のすると云ふのが順序の樣に思ふが▲其の物が動かずに爲替が行はれず單に錢が出るのが所謂錢鈔ではあるまいか即ち換である此の商賈は日本、支那以外には多く見受けられない所である丈其丈不樣に此の商賣は性質が健實でないのである

撫順鐵工株式會社 電話一三七番

製作能力
鑄造一日六噸
鍛冶一日四噸
製罐一日參噸

從業人員
日本人 壹百名
支那人 參百五拾名

營業科目
汽罐 鐵道機器
機械 各種喞筒
鑛山機器 土工器具
水道鐵管 セミスチール
チルド鑄造品 鑄造品
ボールト及ナット類

敷地總坪數 六〇〇〇坪
建物總坪數 壹二〇〇坪

壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目…服商組合指定工場の一…色毛布の處分投賣を始めたが品質の善き割に直段の安い事は平素信用ある同店の事にて決して他店の類似品でない處也而も一枚つゝき一組乙號只の二圓五十錢甲號三圓五十錢特製同品四圓三十錢と云ふ破天荒の大見切をなし目同店は一週年の記念としてネツキで無き白然十八金色指輪を一組の注文毎に一個宛無代進呈をなすと云ふ因に希望者は至急切手にならぬ内ハガキで申込ば送料などもお安くてすむと

ちゞれ毛
ドンナ頑固な毛でも直に直り皆さんが喜んで涙を出してお禮まで添へて下さる不思議なちゞれ毛直し…御知らせ致します…
一冊お困りの方に無代進呈致します
東京淺草山ノ宿町五十一 丁巳堂

流經新藥レスリン
月經
閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て安易く應用の目的を達し其効果他藥に優越す 價一瓶金三圓 郵送料郵切手代用一割增 說明書進呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六地 常盤藥院

アナタの胃病にはマーゲン
八木田博士處方 島田博士再鑑査
強胃消化錠
本劑の特色 二博士確證の本 マーゲンは獨式胃病藥と異り其效は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し溜飲を除くにす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保榮房

調劑處寄有效保證
KAZEPIRIN
大學病院 模範方劑
秋の風引には
解熱 完全劑 東京 風
本舖 東京市芝區三田小山町五番地 淺野榮天堂藥局
鮮滿無從の特約店にて販賣す

腦及神經の疾患に能く鎭靜の効を擧ぐる
○ミツワ鎭靜錠
百錠入 金壹圓拾錢
主要成分 サイミナール、ブロームカリウム、ブロームナトリウム、ブロームアムモニウム、纈草エキス（詳細は說明書にあり）
適應症候 頭痛、頭重、頭內朦朧、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、精神興奮、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、癲癇等
精神を使過ぎると、其の結果頭痛がしたり、頭內が朦朧となつたり、逆上や眩暈に惱まされたり、眠れなかつたり、又感情が亢ぶつたりする、斯樣な病的現象を現はす所謂神經過敏症にはミツワ鎭靜錠を服むに限る。本劑は神經の病的興奮を鎭靜するのみでなく、癲癇の如き痙攣を起す病症にも良効がある。
▼如斯人はミツワ鎭靜錠を用ふべし
一、頭の重く痛む人
一、頭內の朦朧する人
一、逆上せる人
一、夜眠れぬ人
一、神經の過敏な人
一、心臟に病が無いのに動悸の亢ぶる人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、精神の衝動を受け易い人
一、ヒステリーの人

腦病の原因になる鼻病を治癒する
○ミツワ鼻病液
一瓶 金壹拾錢
主要成分 鹽化アドレナリン、鹽酸コカイン、石炭酸、バレサムメンヌ水（詳細は說明書にあり）
適應症候 鼻腔瘙痒、鼻腔乾燥、鼻液過多、鼻閉塞、嗅覺減退、鼻粘膜腫脹、鼻粘膜糜爛、鼻充血、鼻加答兒、鼻出血、肥厚性鼻炎、臭鼻症
鼻腔が痒く、乾いたり鼻汁が盛んに出たりして、鼻が塞り、鼻聲になり、臭氣わからず、鼻粘膜が紅く腫れ、時々鼻血の出ることがあつて、耳や咽喉の病を誘ひ出し、且神經衰弱の如き神經病を惹起す諸種の鼻加答兒には、ミツワ鼻病液を用ふるに限る。本劑は疼痛や搔痒を鎭め、出血を止め、炎症を抑へ、分泌を調節し、腫脹を減じ、尙防腐の作用を呈し、臭氣をも除くのである。
▼如斯人はミツワ鼻病液を用ふべし
一、鼻汁の出過ぎる人
一、鼻の乾く人
一、鼻の痒い人
一、鼻の詰る人
一、頭の重い人
一、臭の判らぬ人
一、鼻の腫れる人
一、鼻の充血する人
一、鼻呼吸の出來ぬ人
一、鼻血の出る人
一、鼻加答兒の人
一、慢性鼻加答兒の人

瀉下作用緩和確實にして腹痛を起さぬ
○ミツワ緩下錠
四十錠 金貳拾錢 百廿錠 金五拾錢 三百五十錠 金壹圓
主要成分 カスカラサグラダ乾燥エキス、蘆薈、大黃末、オンタ油（詳細は說明書にあり）
適應症候 常習便秘、胃腸病、腦病、神經病、神經衰弱、肺病等より來たる便秘、其他便秘一般
便通が無いと、氣分が勝れず身體が倦怠くなり、頭痛や眩暈がして、心悸が亢ぶり、食慾が減り、惡心や嘔吐を催し、腹部が壓されるやうに或は張るやうに感じ、遂に痔疾を起すことがある、殊に他に病があるとき便通が良くないと、其の症候の尙惡くなることが多い。ミツワ緩下錠は緩和な下劑で、腹を痛めず連用しても習慣しないから、家庭で便秘に用ふるのは之に限る
▼如斯人はミツワ緩下錠を用ふべし
一、便通が無くて頭痛のする人…眩暈のする人…氣分の勝れぬ人
一、便通の不規則な人…心悸の亢ぶる人…眠れぬ人…食慾の進まぬ人
一、痔の惡い人…腹部の張る人…腹痛のある人
商品目錄御申越次第送呈
ミツワ石鹸本舖 東京橋町丸見屋商店

商況

東京株式特電

十六日後場 寄付 止め

東株 一七〇.三〇 ／ 同新 一五八.〇〇 ／ 同新 一三四.〇〇 ／ 同船 ／ 郵船 ／ 同新 ／ 同汽 ／ 東電 ／ 鐘紡 ／ 同新 ／ 富士紡 ／ 寶田石油 一〇六.〇〇 ／ 横濱取引 ／ 新高製糖 ／ 北海炭坑 ／ 滿鐵 ／ 同新 一〇一.〇〇

東京現株中値

十四日

東株	二三〇.五〇
同新	一九七.〇〇
朝鮮銀行	一五八.〇〇
南滿鐵道	一四〇.〇〇
第一新株	一〇九.〇〇
第二新株	七三.〇〇
南滿製糖	二一.七〇
朝鮮製糖	五七.〇〇
東拓	一八.〇〇
京城電氣	二三.〇〇
朝鮮瓦斯	二〇.〇〇
同新	一〇六.〇〇
郵船	一〇二.〇〇
同新	九七.五〇
商船	一四三.五〇
同新	二六五.〇〇
鐘紡	[illegible]
同新	二四二.五〇
朝鮮興業	[illegible]

東京期米特電

日後場 未著

高値 三十八圓十九錢
安値 三十七圓九十錢
止め 三十七圓九十五錢

大阪三品特電

十六日前場

十二月限 三五七.〇〇
一月限
二月限
三月限
四月限
五月限 三一九.九〇

兵庫期米特電

十六日前場 寄付 三十七圓五十九錢

下關期米特電

日後場 未著

寄付 三十七圓八十九錢
高値 三十七圓九十四錢
安値 三十七圓八十四錢
止め 三十七圓八十五錢

雜報

十四日前場 常限 中限 先限

寄付 ……
高値 ……
安値 ……
止め ……

●儲推移せば品缺乏

持越み品の殆ど一掃せしと同時に漸く氣配持直りを報ぜり元來當市場は内地の品薄と先行き騰貴の買控に依然入品薄を告げ個々の客品は既に各自の間に先約賣買濟の物なるを以つて各所に讓渡せる爲め各店殆ど手持の品薄を見て… ふるも更に其銘柄なきのみならず動もすれば逆行勝の趨勢を示せる機先内地市況の氣直りと昨今の上方高値の買注文入込めるさにより

一段の上向步調となり粗布三三一號は昨今四百四十八圓迄に買買行れ更に

六十圓近かく迄も昂騰せんかとの意氣込みにて本品の比較上割安なりとの申込あり

雜牌物も追々北標粗布みにて…一部領氣筋には旣に申込み… 一般の警戒を嚴にしつゝあり

●金物更に低落

鐵材は百方之が維持の策を講じつゝあるも米鐵の解禁と共に在荷の割高を免かれざるに至り…

又々五圓乃至十圓方の下落 洋釘より五十錢乃至一圓方下 押し平板入品三圓九十五錢見當 銅更に一圓方下落

●浮應漸落模樣

浮應漸落は昨今の市況…

赤糖は在荷少なく…

東京物新規着八圓…

内輪にて地漬…

優等品にて六圓四五十錢迄下落

下關場相

朝鮮米相場は…

●内地製粉强調

久しく不振の商情にありし製粉は… 又復下落步調

●銑鐵前途軟弱

銑鐵は休戰條約調印以來一般の不況に連れて… 前途頗る軟調の氣配なり

●洋酒類好況

洋酒類は英佛伊より の輸入漸く…

●綿糸布强硬

大阪三品市場は日曜前日高値の機先に… 米棉一圓高に… 更に二圓内外 引締まり綿布は… 十圓七十錢 眼先一般强氣なり

●綿布益々强し

一時悲觀の極に達したる内地綿布市況も… 浦鹽方面・纏りたる輸出行…

●内地糖市況

新規砂糖先物市況は…

各地商況

◎木浦米況 十四日

玄米軟弱 大阪市況に不味…

▲新米(又低落)…

釜山米況

釜山市場 十五日

市場雜觀

一昨大阪前場 三十七圓六十二…

京城正米市場

…

仁川正米

仁川勘米

▲十六日前場(下放安步調)

一昨日曜の正米高移し七八十錢の高人氣の東

志 仲買店

仁川米豆取引所仲買人

電話 ……

京の暴落を受け…三十錢さ二十一錢の下放…

十錢を崩し二十錢と跳返

…

田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所 十六日の二月限

前場 寄付 高値 安値 止め

白米標準値

三十七圓

白米小賣値

三十八錢 三十七錢五厘

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

地安と相俟て賣叩 軟派筋各の買狙 硬軟の鼻息 荒て大勢

各地正米師の賣

米鬱に壓迫されて…

金仲買店

仁川米豆取引所仲買人

電話一五八番 電話七二〇番

毛谷村六助 卅六番角力

九十一席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

黒田官兵衛孝高は筑前名島十二萬石を領して秀吉公へ忠勤を盡して居りましたが、官兵衛の功は擧げて數へ難く、遂に五十二萬石を給はる名島と云ふ處は元金吾中納言の領地であつて名島とは馴得ぬと云ふ様に聞ゆるに… 處が此の孝高は五十二萬石でござります。何れで居る人ではない、いと云つて下さつた。天下一統をしたいと云ふ志しがありました、處が朝鮮の役秀吉公が肥前の名護屋へ御動座に相成つた、吉孝は是幸ひと思つて名護屋の御本陣へ罷出まして、其の腹中に短劍を用意いたし秀吉公へ飛かゝつて刺殺さうと云ふ心算、處が秀吉公は早くも是を察して御備へ飛びかゝつた、アワヤと見ねたる時、秀吉公早くも腰し置いたる短剣を取つて官兵衛、減多な事をしては其方の命はないぞ』官兵衛は後へ飛び退り『恐れ入り奉ります、只今までは君を殺し奉り天下一統をいたす心底、斯くなりましては最早孝高其儀は斷念をいたしました、今日より名を如水と改めまする』と持つたる短刀を取直して己の髻をブツリ切り捌つた、秀吉公是を見てお笑ひ遊ばし

秀『如何に孝高、其方内密にて申上げ度き儀とは何事であるか』秀『ウム、何事であるか』官兵衛は何を云ふのか口の内でムカムカ云つて居ますので少しも判らない…

如何にも汝の心底それにて相解つた、今は其方を疑はぬぞ』と改めてお盃を給はりまして孝高は福岡へ立歸りまする、直に隱居して伜甲斐守長政へ家督を讓りました…

又『ヤア〳〵當合渡川盛返しの一番槍は後藤又兵衛基次なり』と呼ばはりまして、遂に此の戰ひは關東方が大勝利となりましたが、戰ひ終つた後甲斐守長政は後藤又兵衛を召て、長『如何に又兵衛、其方合渡川にて盛り返しの槍を入れたる時に、何故黒田甲斐守の家來後藤又兵衛とは名乘らぬ、其方の名のみにては不都合であらう、又『黒田の後藤か、後藤の黒田か』と云はれた位で、後藤又兵衛と云へば黒田の家臣といふ事は判つて居ります、次第によれば又兵衛とも後藤とも名乘ります、それしきの事をお咎めに相成るは甚だ小量のことかと存じます』甲斐守も何と言葉もなく其儘濟ましてはしまつたが、何うもこんな按排で折合が惡うございます、又孝高も用るません故又兵衛も心中面白くない、或日八歳になる伜の又市甲斐守の側へ小姓として出して置いたものだが、又市『ソノ〜泣きながら歸つて參つた、又『コレ又市何を泣く』又市『今日御前に於て御能のお催しがございました、又『ウム』又市『私が御能を拜見中仰付られました、私は…』

電話賣買

萬年社

京城明治町一丁目 電話一八四四

牛乳

京城東四軒町 岡野牧場

電話一〇六九番

安東憶出の記(一)

頑志無坊

◎安東憶出の記と云ふと過去に屬する事のみを老の繰言の如くに、あの時は面白かつたと悲しかつたこうしたらへマはなかつたらうにと云ふ樣な悲話りを意見すると思ふこそれは大變な間違ひになるか知れぬ、又間違はないかも知れぬ今それに就いて保險する譯には行かぬ、只意の向ふ儘、筆の進むまゝに委して貰ひたい、そして又時には思はぬ方面へ脱線するかも解らない、が此の記の一部分でも安東の爲め利益になる樣な事が出ていてあつたら大に賞讃の辭を浴せかけて貰はなくつては承知せぬ積りである、と前以てアドルボイ式を發表して置く

◎籾から火事 平安南道江東郡江東面下里尹錫稷(四)方より去る八日午後五時出火し三棟燒失したるが原因は主の尹錫稷が摺臼小屋に火鉢を持ち行きて作業中の處その火鉢の飛火より大事に至りしものなりと(平壤)

胃腸病院

京城明治町一丁目 入院隨意 院主 佐々木杏造 電話一六九

◎二ヶ月前の屍體 平安南道江西郡城岩面東堤里なる大同江岸に死後一二ヶ月を經たる年齡三十歲位の鮮人男の屍體漂着したるが原籍住所姓名も不詳にて他殺の疑ひなきを以て假埋葬

十二月十八日

月の運勢 ▲舊十一月十六日 ▲日出 ▲月出

一白 ▲手を出すと… 二黑 ▲目上より… 三碧 ▲… 四綠 ▲愉快なる日… 五黄 ▲節の舞ひ… 六白 ▲下らぬ相談… 七赤 ▲不愉快な日… 八白 ▲利益のある日…

演藝案内

有樂館 早川興行部直營活動寫眞常設館 電話…

▲大活劇小大尉冒險 全二卷 ▲喜劇美人舞踏會 全二卷 ▲新喜劇毒繪具 ▲泣哀話無言の婦人

黄金館 電話(晝間)二二六六 (夜間)二二六七

▲觀音靈驗記 ▲大秘密 第十三篇 第十四篇

浪花館 京城明治町 電話二六〇

▲十二月十三日より(十三日目)

文樂座 本町五丁目 電話三三八

大正館 櫻井町 電話八七三

▲活劇『怪馬車』 五千呎 ◎新派悲劇『血の涙』 全四卷 ◎大活劇チャプリンの大酔 全一卷 ◎舊劇上杉の『飛び加藤』 全三卷

慢性りん病

石炭酸より誘導したる劇烈なる粘膜組織… 一週間分一圓五十錢

大阪市南區櫻川四丁目 藥劑師 淺田藥局

休戰と毛布

(買遲れて後悔する勿れ)

先頃迄の寒氣も嚴しく… 東京神田株式會社東京織物仲繼店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有

資本金壹千萬圓

頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店

京城本町壹丁目 電話五八五番 振替貯金京城一一九三番

醇良無双淸酒

衞生無害品質無双

發賣元 首藤京城支店 京城府黄金町二丁目 長電話一七一一番

首藤釜山支店 釜山港幸町 長電話三四川番

瀨戸外科皮膚科醫院

(診察夜九時迄)

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二番

醫學士 瀨戸潔

年末、年始の贈物にアナタの好意を幾久しく記念するパイン萬年筆を御撰び下さい

割引特價 ▲極最新る優美な化粧用器在之候▼

發賣元 京城日報代理部 京城太平通 振替京城三〇〇

酒井婦人病院

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

電話 一八番 二六〇〇番

院長 酒井一郎

銘酒

金釜 銀釜 菊正宗 櫻正宗

特約店 三巴京城支店 電話三七八五〇番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから三御値がお安いです

京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

京城日報

第五版

[illegible]月七日中立國に於ける相場左如し ▲和蘭二八、五〇 ▲瑞典三九、〇〇 ▲諾威三八、五〇 ▲丁抹四〇、
[illegible]十日[illegible]同日に終る一週間に[illegible]幣の増加七〇〇、〇〇〇、〇〇〇[illegible]厭なり
[illegible]の減少(四)巨額償金支拂の[illegible](五)國内撹亂に基づく信任の缺乏
[illegible]千八百萬法(内英國五億十萬法) 應募人數七百萬を越ね全國各階級の人民を網羅せり

本紙定價 壹部金四錢 壹箇月七十五錢 ▲郵税[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

列強對支那經濟發展(三) 膠州灣問題

獨逸が極東に根據地を得んが爲めに經濟上の目的を以て辛辣なる手段に依り膠州灣租借條約を締結し山東一帶に牢乎たる勢力を扶植するに至れる經緯は世人の記憶に新なる事柄なるが暴力を以て奪ひたるものは又暴力に依りて奪還せられ所謂爾に出づるものは爾に還るこ云ふ因果の理法を示したるは一種の痛快を感ぜずんばあらず獨逸が山東に於て得たる特權は其數頗る多しこ雖も之が主要なるものを擧ぐれば膠州灣の租借、山東鐵道幹支線の布設權及び鑛山採掘等なり是等の特權は我國が武力に依りて奪還したるを以て總て獨逸の獲得したる利權は今日之を繼承しつゝあるも講和會議に於て獨逸政府こ協定したる上更に支那▲政府の承認を求むるものなることは彼の日露講和條約に依りて滿洲問題及び東淸鐵道問題を協定し而して後、支那政府こ交渉を重ねて解決したるこ其性質を同じうするものなりこ然るに我國は日露講和條約成立後日支の交渉を爲したる前轍を踏むは相互に不利を來し不便鮮からざるに鑑み日支間の紛爭を避くるの觀念より此問題に就いては豫め諒解を得置くの必要を認め大正四年五月所謂日支交渉なるものを開きて相互の間圓滿なる諒解を遂け日支條約を締結したれば山東處分問題に關しては他日恐らく何等の紛爭を招くことなかるべき也。膠州灣を還附するに當りては我國は國帑を擲し▲多數の人命を犠牲し非常の犠牲を拂ひたるは云ふまでもなく當初大正三年八月十五日を以て我國より獨逸に對して發したる最後通牒は支那に還付するの目的を以て膠州灣の引渡しを求めたるものなるが獨逸政府が我國の要求を容れざりし結果遂に干戈に愬へて之を奪取したるものなることは世人の知悉する所なり獨逸政府が我國の要求に從ひて之を引渡したるならば之を支那に還附するは當然の措置こ云ふべきも獨逸政府にして我國の要求を容れず我國が多大の犠牲を拂ふて奪取したる關係に顧みれば之が今後の處分に就ては我國に於て自由處分の權利を有するとは▲當然の結果こ云はざるべからず然れごも支那の領土保全は我對支政策の大義にして東洋永遠の平和を確保する上に於て最も重要なる一貫せる大主義なるを以て夙に我廟議は適當の機會に於て之を支那に還附するの議を決したる由なるが日支交渉に際しても將來該條件の下に膠州灣を支那に還附すべきことを聲明し更に日支新條約調印の場合に臨みて此問題に關しては彼我の間適に公文書を交換するに至りたるを以て膠州灣の還附は明白に決せられたるものこ謂ふべきなり勿論其時期は來るべき講和會議の結果膠州灣租借地が全然我國の自由處分に委せられたる場合を前提こせざるべからず而して▲日支の交渉に於ける條件を見るに膠州灣全部を商港こして開放する事こし我國に於て指定する地區に日本專管居留地を設置し若し列國にして希望するに於ては別に共同居留地を設置するの條項をも含み居れり熟々我國こ膠州灣この關係を考察するに膠州灣は獨逸に取りては極東經營の唯一根據地こして絶對に必要なりしならんも我國は獨逸こ事情を異にするが故に之を領有するこ否こに依りて對支經營に何等の支障を來すべきものに非ず之を國防上より見るも我國が領有せざるべからざる程必須の地點にあらざるが如し而も適當の地域に我國の專管居留地を設くるに於ては實質上租借こ▲同一の利益を有するものこ云ふべく又列國の希望に依りては共同居留地の設置を爲すの條項を加へたるは我國が絶對に膠州灣を獨占するものにあらざるを表示したる適當の措置こ謂はざるべからず要するに膠州灣を支那に還附するは我國が終始一貫し主唱し來れる支那領土保全の大綱に則り日支兩國の關係をして將來倍々親善ならしめんこするの精神より出づ我國が斯る公明なる態度を以て膠州灣を支那に還附したればこて他日再び他國の爲に租借若しくは領有せらるゝとあらんか我國が自ら進んで支那の爲に計り又東洋永遠の平和を確保せんが爲に還附したる意義▲精神を沒却せらるべきを以て別に山東省不割讓を誓約せしめて他日の備へを爲したるは是又當然の措置こ云ふべきなり此の如くに行はるゝに至らん然らば山東鐵道は之れを如何に處分せんこする乎(某消息通談)

極東妥協成らん

△虚報頻々 全露政府の執政官コルチャック對セミヨノフの確執に關聯し哈爾賓及び浦鹽方面より傳播せらるゝ多く虚報を以て滿され(一)首領カルムイコフの行方不明説、(二)セミヨノフ將軍の逮捕説、(三)藤井中將のウオルコフに對する武裝解除説(四)英佛兩國のセ將軍に對する武裝解除説(五)後貝加爾州内マグゾン驛(チタの西方)に於けるセ將軍の麾下軍隊及びウオルコフ師團長指揮下部隊の對峙説の如き其の筋著情報に照合すれば悉く虚報にして大部分は爲にする者の故らに流布したる風説なるが如し

△武裝解除 其筋著情報に據ればセミヨノフ及びウオルコフ兩軍に對する武裝解除要求説は最近ホルワット將軍及びセミヨノフ將軍麾下の軍隊が衝突を惹起せんこせる形勢あるに際し我派遣軍が好意的に斡旋して和解せしめたるを傳へたるもの・如く是れ先にセ將軍がコルチャック反對の宣言を爲すやホルワット將軍はコルチャックに好意を表する意味に於て其手兵を東淸鐵道沿線ヴヘドニに進めたるを以てチタのセ將軍亦之に對抗する爲め其部下軍隊を滿洲里に南下せしめたるより之を其儘に放任せば自然兩軍の衝突を免れざるべきを以て双方に勸告して後退せしめたる簡單なる事實たりしなりこ

△軍事行動 又チタのセ將軍及びイルクーツクのウオルコフ師團長は目下依然睨み合の姿にて形勢を觀望し双方共に未だ毫も軍事行動を起さず從つてチタ市の西方マグゾン驛に於て兩軍先發隊の對峙中なりこ云ふが如きは跡方もなき虚報にしてチタの司令部に在る大庭師團長は最近後貝加爾州民一般に對し何派の者こ雖も今後日本軍の守備中は後貝加爾州内に於て兵火を交ゆるを許さずこ宣言せる程なれば假しイルクーツクに滯在せるウオルコフがセ將軍討伐の爲め後貝加爾州内に兵を進むる決心を爲せりこするも我軍の撤退せざる限り實行不可能の事なり尚ホルワット、カルムイコフの衝突説はニコリスク市に在りし露國軍がハバロフスクのカルムイコフ支隊に合せんこ希望せるをホルワットの軍事輔佐官たりしフラーグが之に反對し其武裝解除を求めたるに胚胎せるも是れ亦日本軍の勸告に依りて既に解決し同軍隊はハバロフスクに北上してカ支隊に合し行方不明を傳へらる・カルムイコフの身邊にも何等異變なく現にハバロフスクに健在なりこ云ふ

△紛爭解決 セ將軍對コルチャックの紛爭は目下双方形勢觀望中にして表面上事態は依然こして變ぜざるも一面に於て西伯利中の聯合與國の代表者は此際西伯利の紛糾を繁からしむるを露國の爲めに不利なりこし頻りに妥協の斡旋中なりこのことなれば其解決も遠からざるべしこ云ふ而してホルワット將軍は東淸鐵道を經由する後貝加爾行の軍需品及び糧食の輸送を差押ふべしこの宣言を爲したるは事實なるも現在事實上の輸送は何等支障なく運行せられつゝあるを以て極東の兵權對全露政府の葛藤も双方の面目を失はざる程度に於て程なく妥協成立を見るに至るべしこなり(十二日)

獨逸將來觀測(三)

賀田直治

(四の續)軍國主義は脆く竟世界の脅畏たりし軍國主義は脆くも破れたるも、獨逸の經濟的侵略は決して侮るべからず、所謂『將來獨逸人の活動の野は世界に在り』こ云ふ獨逸人抱負の如く獨逸は今後世界に於ける經濟的一大敵手こして、否競爭者こして、絶倫なる精力に依り、或は背水の陣を張り、或は決死的突撃を試み、困苦を經るに從ひ益々勢力を生じ、更に國民的自覺に依り、再び聯邦の結合を固むるに至る日の來るべきを保せず、況んや獨逸人に限り、彼の猶太人の世界的流浪こは比較すべからず。相當の國家組織の下(結局共和聯邦乎)に實業的活動を成功するの日あるべし。只々此時期は、相當の年月を要すべしこ思惟す。

五、現在にては、聯合國の步調揃ひ居るも、優劣の勢は何時迄も間隙を生ぜずこ云ふべからず、且つは獨逸人の社會主義的組織が整頓する場合は、他國に向つて冥々に侵入するの虞なからずや、獨逸報復の野心尚到底枕を高ふするに由なきものこ思惟す抑も盛衰興亡の理は、歷然こして私なし、ナポレオン戰爭の失敗に依り、發奮し勃興したる獨逸は百年來蓄積せる

▽勢威に乘じて 汎獨政策の危道に脱線し、絶大驚畏の軍國主義を、失敗するに至れるも、單に此の儀失敗に屈服すべき人民にはあらず、將た根本的に、疲憊せる狀態にはあらず、逆境益々奮勵を刺戟し、再び經濟的戰爭に於て、報復又は汎獨政策の別形式を執りて、再現せんこするの虞なきにあらず、要するに時間の問題のみ、其進んで又如何なる國をなし如何なる競爭に出で、平和の再び戰爭に變化するなきや、否やは將來永遠に亘る盛衰興亡の理法及び世界を通ずる歷史の波動に依り、更に研究すべきものにして、予は今單に戰後に於ける當分の獨逸の將來を觀るに過ぎず。

▽形勢を觀測し たるに獨逸の將來は、戰後直ちに戻るべき經濟戰の競爭國たらずこするも、其の一方の競爭民たるに至るべきは遠きを待たず、再び起き直りて一大敵國たるの將來あるべきを以て、現前に於ては寧ろ此の勁敵の大競爭あるこことを覺悟し、防ぐべきは防ぎ、學ぶべきは學び、十分の注意を以て、戰後の經濟戰に備へ、擧國一致奮闘努力するの覺悟なかるべからざるものこ信ず(完)

◎西伯利政情

◎オムスクに樹立せられた西伯利政府は十一月二十日同地露國軍隊及び哥薩克兵のクーデターにより一擧にしてコルチャク中將の軍閥政府こ早變りした、これが爲め歐露のウファ(目下過激派こチェック及び反過激派の對峙しつゝある地點)に於ては新に新獨立政府の樹立を見(二十一日)猶ほ各地に於て個々分立の勢ひを示しつゝある●素々オムスクの西伯利政府なるものは前報の通り舊トムスク議會の議員こウファにありし全露政府の五頭梁この融合政府であつたが這の軍事行政の權を彼の掌中に握つたのは頗る驚異すべき事柄であつた◎クーデターの原因は先月英、佛聯合軍側の軍隊がオムスクに來著した時一大祝宴が開かれ席上各國の國歌が吹奏せられたにも拘らず獨り露西亞の國歌が無い其處で露國の軍人一派は舊ロマノフ家の帝政時代の國歌を強制的に唱へさせたこともあつて最近西伯利政府が著しく左黨に傾したこいふのを嫌つたこいふ原因もあるが兎に角新大統領に選ばれたコルチャク將軍は人も知る如く以前哈爾賓のホルワットの許に在りし時代より有名なる英國黨の人である、而して去る十月オムスクに英國軍隊が來著して大歡迎をうけ且つまた軍人こしては豫て英軍に於ける大露國通のノックス少將があり外交家こしては豫て香港にあつたサー、チャールス・エリオット氏がハイコンミッショナアこして來て居たのに徵すれば解る事である◎これに對しコルチャク將軍は自分には丸で寢耳に水のはなしであることは居まいこ思はれるが記者こ言つてあるが何れ一悶著起らう今朝(廿三日)チェリヤビンスク軍司令部に於てスウロウウオの將軍及びジドリックス將軍にあつたが何れも這回の政爭の爲めに軍隊の分裂を來てゐるこ語り且つ此の際日本軍隊の出動を大旱の雲霓の如く待ちてありこ物語つたウラルの戰線は過激派が今優勢である(チエリヤビンスクの車中にて十一月二十三日金谷生)

東京便り

十二月 吐峰生

◇歳末の東京は頗る平凡にて、首相、文相の伊勢參宮こ、近年稀有の大雪こが都人士に話題を提供するに過ぎない。世界が講和期に入るこ共に、國内政局も至つて平穩こなり、此の分にては現内閣も頗る目出度い年越しをする事が出來るであらう。

◇人心の歸嚮統一や、敬神崇祖の獎勵を絶叫せられつゝある今日、首相、文相の伊勢參宮は大いに推賞すべき振舞である。百の議論は一の實行に如かず、政治家は自ら率先して民心の歸嚮する所を教導しなくてはならぬ。

◇米國大統領ウイルソン君は、多分今日頃佛國に到著する筈である。近來のウイルソン君は世界に號令して地球を自分の考へ通りに改造する大救世主のやうに見える、けれごも君の理想が果して何の程度に實現するかは寧ろ見物である。

◇例の講和條件十四箇條の如きは、世界平和學の教科書こして執筆したものであるから、君自身直ちに之れが實現を期待しても居まい、彼の十四箇條が、今度の講和問題の基礎こされたのが、ウイルソン君自身寧ろ不思議がつては居まいかこ思ふ。

◇ウイルソン君はプロフェッサーウイルソンで何處迄も政治家でない、君はヴェルサイユを世界平和學の講習所こ見做し、君は多少得意の講義をしに出かけたものこ思ふ。但し列強の聽講生が、一々受け取るや否やは疑問である。

◇ウイルソン君が平和論の巡回講演に出かけた其の留守中、有名なルーズベルト君が、盛んに鳴らして軍國主義を誇張してるが所は、何處迄も米國式でなかく眞似の出來ない所がある。

遊靑蓮寺　楣　假山

山上寺巖巖下林。靑蓮寺古白雲深。高僧遺跡無人訪。往事茫茫付一吟。

學鷗曰、靈心妙腕、逾邁時流、

悼成田文學士　安東　季雲

文星歛落痛城癈。齋素無人不耐情。絶命歌殘千載下。永教子弟想牛乎。

學鷗曰、悽愴愴、令人傷感不已。

悼成田忠良君　笹島　柴峯

生別何圖爲死別。忽然凶耗夢茫茫。學攻中外識逾博。交及公私誼益長。神鬼感誠辭世句。友朋有恨讀書堂。吝嗟天壽是天命。人事元期名姓芳。

學鷗曰、語出肺腑、可充于縮川學士之小傳。

[illegible]を更ふる事[illegible]一週間以内に[illegible]呈す但何書何誌こ明記に限る▲宗名は京城日報[illegible]

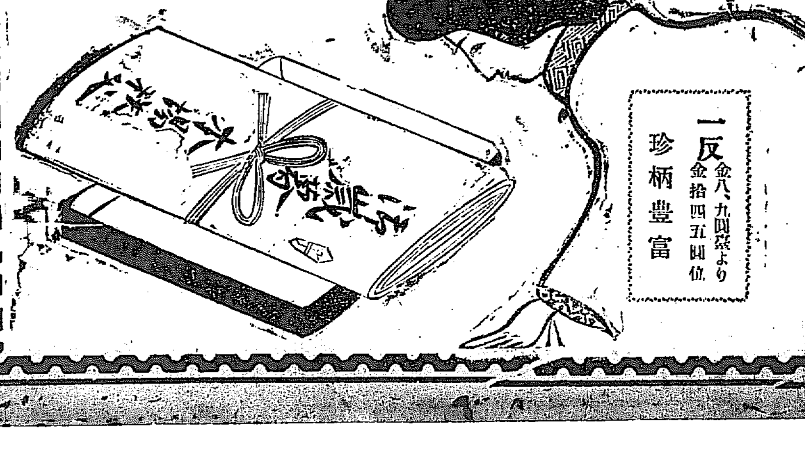
▲下句付『世の中は』 ▲出題『食』 川柳社
十二日 十三日 十四日 十五日 十六日
十三日 十四日 十五日 十六日 十七日

東京市長 法學博士 子爵 田尻稻次郎先生序
陸軍糧秣本廠囑託 田邊玄平先生著
パン 米價半減 滋養絶大 家庭パン製法
七博士推薦(名) 日本一安價生活法!!(版十)
▲田尻博士創案の玄米パン其他を極めて手際に捨て米價半減の安價生活法を世に普及せんため公刊す▲米麥栗稗雜穀馬鈴薯甘藷等何でも在來の十分一の經費にて飯より甘いパン饅頭菓子を製せらる▲經濟的主食物の第一步たるのみならず家庭經濟上莫大の利益也▲米價調節農村改善の必讀書▲家庭者は勿論胃腸病患者の必讀すべき良寶也
●讀者に 五十斤分進呈 クロース製頁數 一册金四十錢 郵稅四錢 試製パン種 小包代 郵券代用一割增
發行所 東京神田表猿樂町 振替東京三七一四五 大日本食料品研究所

新年用 贈答の第一品
銘香 藤の尾 銘筆 萬葉 銘墨 養老
包紙ハ 鐵齋、栖鳳、虛舟、三喬伯 ノ靈筆ナリ
香筆墨三種 組合桐箱入 壹圓 内地送料八錢
京都寺町 熊谷鳩居堂 振替大阪六三八

開店廣告
今般左記へ開店仕候間何卒多少に不拘御用命の程願上候
海産物各種 專業
粕漬(鰻、帆立貝、太ノ子)
○御贈答用樽詰折箱詰等取揃へ居候
京城旭町一丁目 三宅商店 取次 電話二七三番

御進物として これなら どこへ出しても立派なもの!! 本場 秩父銘仙 ならば 贈つて安心! 贈られて喜ぶ! どこの御家庭でも大歡迎!!
目下奇抜で面白い 半額割戻賣出し開催中 重寶なる商品券 体裁優美の函入 れこして金壹圓より調進可仕候
(秩)
京城本町 ちくさや



一反 金八、九圓級より 金拾四五圓位 珍柄豊富

日立モートル 東京市京橋區木挽町五ノ三 電話新橋[illegible] 登録受信略名[illegible] 淺沼商店

義士物語 女忠臣藏
碧瑠璃園の快著出づ 元祿の快擧只に義士の傳のみを談じて已む可けんや却て其裏面に潛める花の如き女性の犧牲的活躍の歎嘆に値すべきものあるを見逃すべからず此間の消息を叙するは蓋し著者の獨壇場圓熟妙絶の筆致句々章々悉く悲涙の結晶
全一册 定價壹圓八拾錢 送料拾貳錢 裝幀極美 新刊
東京神田表三崎町 大阪南區休ノ町 株式會社 大鐙閣發賣 振替東京三六一一 大阪二七一五五

ニッポノホン
十二月新譜 (お正月のも出ました)
平和の喜
年末やお正月の贈物には ニッポノホン蓄音器と 鷲印レコードになさい 新らしき曲種 新らしき演奏者 新らしき趣向 新らしき用意は ニッポノホンの誇です
貰つた人も贈つた人もお友だちも皆んなで樂しまれる永く使はれる贈物は ニッポノホン蓄音器と 鷲印レコード(兩面盤)
定價 金壹圓貳拾錢
▽どんな所が吹込まれたか ▽讀んで解かる面白い 十二月月報(進呈す)
○西洋名家新レコードの新譜も來出ました
○淸元 喜撰(兩面四枚) 淸元喜久太夫
○芝居噺 忠臣藏十一、十二ケ月 田中傳左衛門
○俚謠 金山節 盛岡、かや、つる、一助
○義太夫 帯屋の段 竹本錦太夫
此外神の娘、五目浪花節、あやめ浴衣、七福神等
正月新譜
○長唄 新曲浦島(兩面四枚) 芳村孝次郎
○俚謠 喇叭節 名人安中
此外神田祭、鎗さび、忠臣藏十二ケ月、家庭鞄、金色夜叉等
朝鮮京城本町二丁目 日本蓄音器商會 電話貳八參番

◇休戰延期決定

休戰期間は明年一月十七日迄延期の事に決定せり(巴里電報)

◇大統領代表會商議題

ウイルソン氏が聯合國代表者との會商に上提せらる可き問題は講和條約中國際聯盟の規定を設く可きか又海洋の自由に關する正確なる提議及び賠償問題なるがウイルソン氏は此等に就き各國の賛成を得ざれば議判に參加するの要無しとの意を洩らせり(巴里電報)

◇英國首相の綱領

ロイド、ジョージ氏の定めたる綱領左の如し(倫敦電報)

(一)獨帝の處罰(二)獨逸の損害賠償(三)兵士をして速かに歸還せしむる事(四)兵士又は水兵たりし者に公平なる待遇を與ふ事(五)生活の向上社會狀態の改善を圖る事

◇英國總選擧形勢

倫敦來電＝十五日の總選擧に就ては一般に冷然たるごときも聯合派の勝利確實なり(倫敦電報)

◇波蘭へ使節派遣

波蘭に於ける殘忍行爲に就き調査の爲め特別文官使節を派遣するに決定し聯合國之を承認す(華盛頓電報)

◇佛軍オデッサ上陸

佛軍はオデッサの秩序回復と獨軍驅逐の爲め同地に上陸せり(倫敦電報)

◇總統對廣東回答

福建、陝西への北軍進行に對する廣東政府の詰問に對し徐總統は右は同地土匪鎭壓の爲めなれば俄に中止する能はずと回答せり(北京電報)

◇米支交涉濃厚

天津獨逸租界米國讓渡說

天津に於ける米、支官憲の交涉濃厚となり來り獨逸租界を米國に讓り渡しの協議進行中なりとの噂あり 黎元洪氏を米國兵營に案內し饗應せる等注目を惹き居れり(天津電報)

◇鮮銀株主總會

新株募入經過

朝鮮銀行にては十六日午後二時銀行集會所にて臨時株主總會を開き增資二千萬圓の第一回株金拂込結了に就て美濃部總裁より報告ありたるが右新株廿萬株の中割當て株十七萬株に對し引受け無き株二千株は更に株主募集の手續きを爲し公募株三萬株に對し申込總株數十八萬三千四百五十の中申込價格百四十四圓五十錢以上二萬七千七百六十株は全部募入確定し尙申込價格百四十四圓のものは二千二百四十株募入し右全部の株金五百萬圓新株三萬株に對する割增金百三十四萬七千八百十圓は十月二十八日迄に全部拂込結了せるものなりと(東京特電)

□論語御進講

天皇陛下には十六日小牧昌業氏の論語進講を聽し召されたる由漏れ承はる(東京特電)

◇日滿連絡運輸運賃改正

鐵道院にては十六日明治四十三年三月告示第十三號「日滿連絡運輸旅客及び手荷物賃率規則及び連絡運輸運賃表」中を改正し大正八年一月一日より施行の旨告示せり(東京特電)

◇練習艦隊旅順入港

中野中將統帥の練習艦隊『吾妻』『磐手』の二艦は十六日午前八時旅順に入港せり候補生二百廿名、將校廿四名は艦艇汽艇にて上陸し白玉山納骨祠に參拜水交社、海軍修理所、防備隊、病室等訪問十七日より各砲臺、戰跡其他の見學を爲す筈なり(大連特電)

◇國分次官通過

東上中なりし李王職次官國分は十六日朝下關發關釜連絡船にて渡鮮歸任せり(門司特電)

◎獨逸政情混沌

▼政府顚覆暴動

二三の都市を除く獨逸社會黨及び勞兵會はエーベルト、シャイデマン等の政策に贊同し伯林に於てもエーベルト等は今日の處兵士の補充兵下士護衛隊等兵士の大部分に支持されまして獨立社會黨右翼の勢力の範圍たる勞兵會執行委員會の反對を緩和するに努め居れるがスパルタカス團ガロップは脫營兵歸休兵一部の勞働者等數千人を擁し同盟罷工を起しエーベルト政府を顚覆せんとし十二月六日伯林北部に變動を起したるも軍隊の爲め阻止せられたるがリープクネヒトの機關紙デーロードファネーは機を窺して再擧せんことを宣言しハーゼ等の機關紙フライハイトも亦エーベルトに不滿なるも現在過激派の實力は大ならず而し軍隊の復員と共に各種の分子入込み戰線より歸還する軍隊の一部には反革命を非とするものありと云へば今後の形勢は豫測し難きも目下の處先づ小康を得つゝあるもの如し

▽食糧減配公表

戰時食糧局は馬鈴薯分配量を半減しパンは二月初め迄現在の分量を維持し得べきも脂肪類は殆んど分配不能なりと公表し政府は行政費勞銀の騰貴の爲め紙幣を濫發しつゝあり

▽兩政黨の協調

エーベルト等は來る十六日伯林に開催の全國勞兵會大會に於て穩和派が過激運動を阻止せんことを運動し民主黨聯選擧の爲め獨逸保守黨全部基督教社會黨は獨逸國民世襲財產の維持新教の保護を綱領とし十二月三日獨逸國民黨を組織し國民自由黨の大部分は十二月四日自由左黨一派の組織せる獨逸民主黨に加入し右保守自由二黨は社會黨に對抗する爲め協調を策しつゝあり此等の間には聯邦參議院帝國議會の再開を主張するもの多し

▽共和建設可決

四日ケルンにては普國文部大臣ホフマンの反宗教的政策に反對し中央黨議員の一部はラインウエストファリヤ共和國建設を決議せり(ストックホルム發聯所報電＝東京)

◎繭絲移出激增

當局者談

農產物中最も重要の位置を占むる家蠶繭は今や朝鮮全道到る處其生產を見ざるなく就中慶北、平南、平北、京畿、江原の五道を主產地とし從來の雜駁劣等なる二眠蠶種及び畦畔宅地等に散植せられし桑樹の如きも明治卅九年來品種の改良と桑樹の栽培に努めたる結果全然面目を一新して優良蠶種の飼育と共に普及し生產繭の品質亦著しき向上を示し其聲價一般に認識せらるゝに伴ない產繭移出の如きも逐年增加の趨勢を辿りつゝあり今最近の調査に基き朝鮮產繭の移出狀況を見るに昨大正六年中に於ける移出總額三百七萬九千圓に對し本年は十一月末日迄に移出額四百八十七萬餘圓の巨額に上れり而も本年は繭價絲價共空前の高値を唱へし關係上蠶業家側の思惑による商惜みの傾向著しく從つて手持品多きを以て少くも明年一月迄移出繼續せらるべく本年內には移出額六百萬圓に上るべしと豫想せられつゝあり又一方生絲移出の狀況を見るに昨大正六年迄は生絲に對し移出殆んど皆無の狀態なりしも本年は關稅撤廢に伴ない朝鮮內に於ける製絲業の勃興を促し釜山十八萬九千圓大邱十七萬圓京城九萬七千圓合計四十五萬六千圓の移出を見るに至れり故に此趨勢より推せば明大正八年には朝鮮繭絲の移出一層の旺盛を現はすに至るべく殊に生絲移出は繭額增加と鮮內蠶繭の消化力增大と相俟つて更に一段の進境を示すべしと觀測せらる

◎棉作第二期計畫(一)

二十五萬町步を擴張し二億五千萬斤の生產を得んとす

總督府に於ては棉花獎勵第一期計畫八萬九千町步が今回豫定の成績を以て終了を告げたるに依り更に來年度より前回に比し一層大規模の獎勵計畫を樹て擴張を圖る事となれるが其の實行計畫の內容左の如し

▼緒言

朝鮮は氣候風土棉花の生產に好適し就中南鮮地方は陸地棉の栽培に適するを以て嚢に陸地棉獎勵計畫を樹て陸地棉作付反別を十萬町步に達せしめん事を期し大正元年以來之が栽培普及の獎勵に努めたる結果其の作付漸次普及し殊に最近

▼世界大戰亂の影響を蒙り棉花年を追ふて昂騰したる爲其の獎勵著々功を奏し大正七年には陸地棉作付反別八萬九千町步に達し其の實棉收穫高七千五百六十五萬斤(豫想高)を算し大約第一期計畫を完了するに至れり(第一期擴張面積十萬町步に達するを得ざりしは當初獎勵計畫の內全羅南道濟州島は其の風土棉作に適せざりしを發見し其の獎勵を見合せたる爲一萬五千町步の不足を見たるに依る)然れども

▼其の生產額を以て內地の需用額に比較するときは僅に其の一小部分を占むるに過ぎず今や朝鮮に於ける諸般の事情を考査して其の將來を按ずるに棉作の前途尙甚だ多きを以て本邦紡織工業の前途の爲我領域內に於ける唯一の棉花生產地として一層栽培の擴張と生產の增加とを圖り以て棉花自給の一端に資するの必要を切なるを覺ゆ、將來に於ける棉作の發達は果して如何なる程度に達し得べきやは未だ

▼基本的調査の行はれたるもの無く據るべき基礎資料乏しきを以て精確なる推定を下す事難しと雖も食料の自給に支障を來さゞる限度に於て棉作に適する熟田に其の栽培を獎め進んで適當なる山麓の緩傾斜地又は草生地を利用し尙年々旱害を蒙るが如き用水不足の地目變換を行ひ全羅南北慶尙南北忠淸南北の

▼六道には主として陸地棉を京畿黃海平安南北の四道には專ら在來棉を耕作せしむる事とし獎勵上に一段の努力を加ふるときは今後十年を期して作付反別に於て陸地棉十萬町步在來棉三萬五千町步計十三萬五千町步を擴張し其の總面積を二十五萬町步に達せしめ得べく尙進んで栽培法の改良を圖るときは其の生產棉花大約二億五千萬斤に達せしむる事難からざるべきを以て右の推定に基づき左記の方法に依り棉作獎勵第二期計畫を定め大正八年度より之が實行を爲さんとす

◎滿鮮資本家の握手

＝川上東拓理事の談

奉天大連旅順に出張中なりし川上東拓理事は十六日夜歸任したりその談に曰く滿洲行の用務はある事業上の事であつて中村都督にも訪ひ旅順大連の大官並に實業家に面會し實業家にも會見して來たがその事業は尙計畫中に屬するので公表を憚る、滿鮮實業家の連絡握手と云ふ事は現に事實にも現はれてゐるが大陸に於ける帝國勢力の策動上今後

◆益々必要 であらう、然し乍ら滿洲の事業資金を朝鮮に移入すると云ふ事は從來殆んど見られないやうに今後も多くを期待する事は出來ない、朝鮮が北へ！北へ！と延びて行くやうに滿洲實業界の注意も矢張北進にある、その朝鮮南下を求むるのは逆勢の要求であらう、鮮滿事業界の北進は大勢であると稱してよい、予の鴨綠江を超ゑて北進したのは明治四十四年以來殆んど

◆十年振り であつたが奉天と云ひ大連と云ひその發展は目覺しいものである、奉天は昨年來事業の計畫相踵ぎその大平野の中に占めた位置の雄大な所より見るも今後益々發展をなすであらう大連も特產の出廻り期に入り市況は大に活氣を帶びてゐる、埠頭より驛の附近に到る間の山と積まれた特產は貨山をなし今は奧地より搬んで來てもその置き場を見出すに苦しむと云ふ狀態である、その滯貨が朝鮮と桁違ひの幾十萬噸であるかは知るの餘裕なかりしも今後は海面の大埋立て等を行はざる限り

◆廻著產物の 野積保管場に第一困り又上場の位置を卜する事も出來ないやうである、特產と云へば今春來十餘回も續いた大連埠頭倉庫の怪火は最近鎭まつてゐるらしいがその怪火の原因は今に大連でも正體が分らぬさうで當局者も閉口してゐる、兎に角此の怪火のために貨物保險料は上る、銀行も幾分警戒すると云ふ風で大商人側には打擊を受けたものもあるやの噂もある、更に大連に於ける銀價の動搖から同地取引所の銀建を

◆金建てに 改めんとする問題は當局大勢はそこに落ちつくべきものであらうが目先急に銀建てを金建てになすやうになるかどうかは俄に斷じ難いやうに見ゆる、金建改正主張の意見も强いが又銀建維持論も侮るべからざる勢力である、それらの問題を別として銀行の大連に於ける活動は目覺しいものがある、本店の營業局長より副支配人として大連に行つてゐる阿部秀太郎君の如き大連の財界を切つて廻しつゝあるやうだつた、大內民政署長の辭意は間接に聞ゐたが署長は宿痾ありその退任は止むを得ないらしい

◎橫山局長談

新義州に於ける鮮銀出張所の行務を殖產銀行支店に引繼ぎて歸京せし橫山鮮銀庶務局長は曰く當初鮮銀の取引先は當行の引揚げし結果不安を感ぜしやうなるが今回有賀頭取並に予等出張鮮銀の引揚理由並に今後殖銀の營業方針を詳述し何等不利不便を與へざる旨を告げし結果何れも大に諒解し好感を以て迎へしやうなりき

◎長春金建實施

長春重要物產取引所にては十三日より從來の銀建を金建に變更實施する事となりたりと

◎京畿徵稅費狀況

京畿道管內客年度に於ける徵稅費現額狀況を聞くに合計十六萬一千八十一圓にして其の內譯は奏任俸給四千八百五十圓、判任俸給六萬一千三百二十四圓、賞與五千六百八十八圓計七萬一千八百十七圓旅費一萬一千五百五十六圓廳費一萬四千二百四十七圓雜給及雜費三萬一千三百四十四圓、驛屯土管理費七百八十圓處理費八百三十圓、地方費賦課金取扱費二千二百七十圓其他諸支出金二萬八千三百圓合計十六萬一千八十一圓なりと

◎京畿改良米種

大正七年度京畿道に於ける改良米種普及豫定面積は早神力三萬七百三十三町八反步多摩錦三萬二千六百七十一町九反步石白一萬三千三百八十一町九反步穀良都一萬四千八百七十二町六反步日の出五千八百二十一町九反步合計八萬七千四百九十一町九反步にして豫定計畫せる六萬七千五百町步に超過すること實に二萬町步に及べり而して右改良の爲め增收せる總量は三十萬石にして一石二十圓と假定せば約六百萬圓の增收となるべしと

◎宇都宮中將歸期

久しく東上中の軍司令官宇都宮太郎中將は十八日朝古城副官帶同龍山に歸着赴任すべし

◎鳥居氏來明

總督府古蹟調査囑託東京帝國大學講師鳥居龍藏氏は不日東京出發二十九日頃入京の筈なるが右は今回全羅南北道及び慶尙南道管內の古蹟調査の爲めなりと

◎大內前民政署長

大連民政署長を辭職したる大內丑之助氏は廿九日大連發哈爾賓丸にて內地に引揚ぐる筈なり(大連特電)

◎南大門倉庫開始

鐵道京城管理局に於ては滯貨救濟策として廿一日より南大門驛に於て倉庫業を開始する由なるが當分の內預りのみを取扱ふ可しと

◎牧山代議士東上

代議士牧山耕藏氏は第四十一議會出席の爲め十八日午前八時四十分南大門發列車にて東上の途に就くべし

◎庵原氏退職

庵原文一氏は總督府水產課技師として在鮮十三年朝鮮水產界に貢獻する處多大なりしが偶々病を得て職を辭し目下京城府安國洞に於て靜養に努めつゝある由

□鈴木校長殉職

虎耳

寒月に輕き鴻毛衣でゆけり

人事

△中井喜太郎氏(朝鮮興業技師) 十六日夜入京不知火へ
△今日四郎氏 十五日朝退京
△澁谷太吉氏 同上
△篠原辰三郎氏 同上
△吉川喜太郎氏 同上
△熊平源藏氏 十六日朝退京
△田中半藏氏 十六日夜同
△米山久彌氏(東拓庶務課長) 十六日夕
臨任
△橫山直樹氏(鮮銀庶務局長) 同上

◎……鳥瞰錄……◎

入京中の財務官今村武志君は露國に行つてゐる財務官等と共に若手の逸材と云はれ、將來大藏省の中堅たる人らしい▲君は官吏として官吏らしくなく一寸あつてみても氣持ちの好い人だ▲ハルピンには英米の勢力に脊を折られることだらう、それらの勢力の糾紛せる間に立つて、剃刀の如く切れる活動を君に求むるは或は少しく無理かも知れぬ然し大鉈を振つての立廻りは君の如く太ッ腹な底力のある人にはもつて來いであらう▲コセツカヌ所に君の人物の小さくない所が現はれてゐる、その邊露國の財務官としては最も適してゐやう▲ものを尋ねても中々眞面目だ、然し酒を飲むと裸踊位はやりかねない勇氣がある▲體格は堂々たる丈夫だが、その在學中もランナーのチャンピオンとして今大阪にゐる木下醫博などゝ優劣を爭つたものだ、と東京にある君の友人は話してゐた▲東京を立時から風邪を引ゐて、老人見たやうに腰が痛んで弱ると十六日ホテルでコボしてゐたさうな

正月のお仕度は出來ましたか

正月の料理と其の儀式・作法と裁縫が覺えられる

■樂しきお正月 目出度きお正月は樂しく暮らさねばならぬ。我が國には正月を迎ふるに國粹の美風たる一定の法式がある。この法式中最も大切なるは、正月の儀式作法と、其の料理とである。正月に適する料理を一家の食卓に上せて、來客の酒膳に美味を供すれば、和氣家に滿ちて、目出度き正月を必ず樂しく暮し得るのである。

■板垣伯夫人 主宰の『家庭料理講義錄』は、其の正月號に於て最も多くこの點に留意し、正月用の料理を滿載し、其の儀式作法を詳しく說いてゐるから、今左に其の內容の大略を紹介しやう。

◆正月の儀式作法 ▲門松▲注連飾▲若水▲屠蘇▲蓬萊▲雜煮▲鏡餅▲吉方▲齒固の餅▲七草▲鏡餅開等に關する正月の儀式作法を詳細に講義し

◆三ケ日料理 正月三ケ日は如何なる料理を供すべきかを說き其の料理法を講義し

◆雜煮餅調理法 正月に缺くべからざる雜煮餅の美味なる種々の料理法を講義し

◆正月重詰料理 正月に缺くてならぬ重詰の料理法を講義し

◆勅題御料理 勅題の御歌に因んだ素晴しい島臺盛りの料理を、素人にも出來る樣に講義し

◆正月會席料理 上方風に適應した會席料理が講義され

◆餅腹に適する料理 ▲淡い豆腐料理▲鷄の珍らしい料理等、正月の餅腹に珍重される種々の料理が講義され

◆新年用の菓子 新年に適する珍らしき菓子の製法があり

◆新年用西洋料理 ▲新年用の獻立▲變食の獻立▲佛蘭西料理等、新年宴會の西洋料理が種々講義され

◆正月用支那料理 日本人向の正月用支那料理があり

◆經濟料理 時節柄一讀を要する料理法が講義されてあります

斯く正月用の料理と其の儀式作法とが滿載されてあるばかりか

■禮儀作法講義 ▲一般の禮儀作法▲普通婚禮式法▲日本食禮法等を詳細に圖入にて講義し

■裁縫講義 裁縫の大家戶板女史が裁縫の要訣を講義し

■其の他 ▲大隈侯爵の「我國の健康法」▲鹿牛正藏氏の「國民の保健と食料問題」▲加藤士の「子供の食物」等、一讀に値する記事多し

◆女子必讀の講義錄 同講義錄は單に正月號ばかりでなく、毎號斯く料理と禮儀作法と裁縫とを講義し居れば、女子必讀の講義錄と云ふべきである。

■入會の好機 同會は正月號より新學期を開始せんとし既に正月號も出來して目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機である。入會手續簡單にて『ハガキに講義錄送れ』と書いて申込めば、直に會員として每月送る。會費は一ケ月分四十錢。六ケ月分二圓二十錢。一ケ年分四圓二十錢である。

■送金の便法 會費は前納するが利益なるも、送金を面倒と思ふ方には、集金郵便の便法がある。この法は入會を申込めば直に會員として講義錄を一冊送り同時に二ケ月分の會費(集金手數料共八十五錢)を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は翌月送り、斯く二ケ月目每に二ケ月分宛の會費を集金に行くのです。

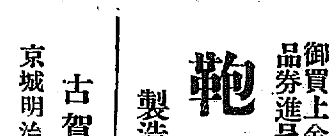
■大特典有り 此際の入會者に限り入會金を免除し、「料理必攜」を進呈する外『六ケ月分の會費前納者には「家庭寶典」を呈し、一ケ年分の會費前納者には更に「新パン製造法」及び「記念メダル」を進呈し、本會出版の圖書を三割引にて購買する特權と、附屬割烹學校にて一ケ月間無月謝聽講生たるの特點を與へます。

▽內容說明書進呈 內容說明書入用の方へは申越次第無代進呈します。

東京割烹講習會 東京本郷元町 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四一番

▲製本既に出來し居れば一刻も早く入會せられよ

株式會社第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
京城本町二丁目 振替貯金京城一一〇六一番 電話二一二三七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎



御買上金壹圓毎に景品券進呈
鞄は
製造元の
古賀鞄製造所
京城明治町二丁目
電話一八三三番

財團法人 電機學校
本科講義錄 校外生、本科講習生用
豫科講義錄 完備好評
校外生 本科講習生 豫科講習生 募集
●規則書無料送呈 ●懸賞規定を設く
●東京神田區錦町 (電話本局七九八)

お歲暮には實用向の御進物は
▲樽詰
▲箱詰
▲上袋入
▲砂糖切手
例年の通り特別大勉强仕候間多少共御用命奉希上候

砂糖 麥粉 製菓原料卸 ミツワキヤラメル販賣元 掛物洋菓子
京城南大門通 (上) 上田商店 電話一五〇七番

歲暮大賣出し
福引景品
特等 八拾圓券(貳拾圓勸業債券四枚) 壹本
壹等 壹百貳拾圓(廿圓債券貳枚又八寶箪笥一掉) 參本
貳等 七拾圓(茶棚鏡台拾圓債券一枚) 五本
參等 百圓ヅヽ 拾本
以下拾等迄空籤ナシ
十二月十五日より三十一日迄
御贈答用として商品券發行仕候
時計及附屬品貴金屬製品裝身具一式
平井勳資堂 京城本町一丁目 電話二二〇一番 振替口座京城二二六一番

外科 皮膚科
內科 花柳病
小兒科
入院隨意 夜間診察九時迄
島崎病院 本町通り左に入る京城旭町一丁目 電話二七三六番
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

◎米價調節成案 聯合會議新決定

(イ)外國米の輸入を獎勵し輸入税撤廢の外運賃を輕減する等の方法に依り之を低廉ならしむる……制限を勵行する事(ホ)內地米消費の節約と代用食糧品價值の……

四十萬人 米軍隊の感冒

……れば十二月一日迄の發病者は三十三萬八千二百五十七名にして其中約十七萬名は死亡したり(華盛頓)

崩れ先限は三十圓九十錢と二十九錢下放れに寄付三十一圓と戾したる賣物に壓され九十錢と上下打したる折柄東京の噂さに七十九錢……

下關期米

(一)戰後の外國貿易に關し我國の[illegible]め努々政府當局に建議する事に決す(二)米價調節策の二せり(東京)

[illegible]す(一)朝鮮米の移入を[illegible]に之が爲め朝鮮に對して外米の移入を奬勵する事(三)米の輸入

二十七萬九千七百二十五坪 馬田[illegible]

死亡十七萬人
陸軍軍隊内並に陸軍要地に於ける流行性感冒猖獗に關する公報に依る

國民的歌謠を……

◇皇國の理想を宣傳する歌謠◇

日本にも得たいので=文部省當局談

圖一昨年來懸賞で募集したものを嚴選した

近時國民の歌謠といふことについて大分識者間に注目され且論議さるるやうになつて來た、最近開かれた教育主査委員會に於ても『健全なる和洋の音樂を奬勵し殊に俗謠の改善を圖ること』といふのを

◆決議條項 の一つに加へて居るが、更に中橋文部大臣が最近の小學校の唱歌に就て爲した談片のうちにも『君が代は神聖なる國歌として時と場所とに制限がある、從つて興旺した時に則即ち高く唱ふべく我國には未だ適當なる唱歌がない』此の意味に於て小學校の唱歌は餘りに幼稚に失して居る』と云うて居る、右に就き文部省渡邊

◆圖書課長 は語る『從來とても國民的歌謠といふものは全然ないのではない、現に尋常小學校には一般兒童の唱ふべき唱歌集といふものが出來て居り是等は懸賞募集で採つたもの、特に專門家に依囑して作つたもの、或は從來の讀本にあつた唱歌を改作したものであるが、孰れも幼稚な兒童の頭を標準として作つたものであるから其中に所謂皇國の理想を

◆宣傳する やうな國民的歌謠を見出さうとすることは無理であるかも知れぬで最近文部省では夫々專門の委員を設けて高等小學で使ふ唱歌集作製の案を立て一昨年來懸賞を以て全國より募集し嚴選して來年早々發表する運びになつて居る、このうちには恐らく國民的歌謠として恥かしからぬものがあらうと非常な期待を持つて居る』

ジャパン號坐礁

本牧沖で濃霧の爲……

カナダ太平洋汽船會社の汽船エムクレーク、ジャパン號(五千九百四十噸)は今回御用船解除となつたので乘客貨物等を載せバンクーバーを

▽出帆 長崎に直航の途上石炭の不足を來したので横濱に入港燃料の補充を爲すべく十三日午前五時半頃本牧沖に差掛りたる處折柄の濃霧に針路を誤り十二天を距る東方一浬の海上落瀬に坐礁した依て船長は直にボートに移乘し陸地に漕付山下町なる同會社支店に赴き救助を求めたので同支店では

▽横濱 ドック會社に交渉し戸部外他一隻を現場に派して引卸しに着手したが滿潮を利用せば容易く引卸し得べく午後一時頃迄には全く離礁の見込であると(横濱電話)

日記帳

新裝を凝らした新年號の少年少女雜誌がボツ／＼書店の店頭に現はれて來たが八年度の日記類は大抵京城の各書店にも着荷した、書店大阪屋に就て聞くに、本年は紙價の暴騰に依つて或種の日記は發行し得なかつたのもある。それでも六七十種の日記は例によつて新意を凝らして店頭に堆く積まれて居る。其中でも博文館、積善館、實業の日本社の發行になるものが大部分を占め定價は最高一圓五十錢位からポケット日記類の十二三錢位のもある。尤もよく賣れるのは常用日記、家庭日記、婦人日記、商用日記などで文章日記やテーブル日記等の特殊なのもよく賣れる。新しい試みとしては大鐙閣出版の三年通用日記などがある値段としては各種を通じて六七十錢位なものが最も歡迎されるさうである。

不燃燒の瓦斯を發見す

航空界の大問題

=米國海軍省發表=

米國海軍省は氣球、飛行船其他(大氣よりも輕き)飛揚物に使用せんが爲考案したる新不燃燒瓦斯の發見を發表したり此瓦斯はアルゴンと稱せらる・原子にして之を使用せば從來瓦斯充塡に水素の使用せられ居たる爲之に伴なひて氣球取扱上に起りたる火災、爆發等の危險を除去し得べし(華盛頓電報)

▽ヘリウムか 田丸博士談

田丸博士は語る『アルゴンのやうに重いものを飛揚體に用ひるといふは變だ、ヘリウムの誤りではないだらうか、ヘリウムなら餘程古く發見されたもので不燃燒體だし是まで屡々考へられたことである之なら重量も輕い、漸く水素の二倍ぐらゐだから若しヘリウムを澤山製造する方法さへ發見されゝば是が一番好い』

るなりと、麴町區飯田町の自宅にて老いたる慈母に奉養怠らざるなきに何れも感じつゝありと

辯護士試驗に合格す

留學生 李升兩氏

◇八十四名中十番で

在東京朝鮮留學生李升雨氏は曾て中央大學法科に在學中今年優等の成績にて同校を卒業し進んで辯護士試驗に應じ八十四名の及第者中十番の好成績にて首尾好く通過したるが朝鮮人としては誠に異數とすべく此種の試驗に内地人以外の及第者は氏を以て嚆矢とすと因に同君は日本大學研究科に在學中なれば研究を終へ次第歸鮮開業の筈にて朝鮮に於る出身校は[illegible]されたる大同專門學校法科なりと

◇忙しい疊屋

女判任官

=内閣始めての……

模範的の婦人

十三日内閣から拜命したる内閣統計局の金井登志子(四〇)と云ふは獨立自助の志しも厚く模範的の婦人なり、遞信省、鐵道院等には多數の女判任官あれど内閣として此の

◇女判任官 任命は今回が嚆矢なりと同女の實父保澤氏は、判事として數年前八王子區裁判所に奉職中に死亡せり、當時八王子高等女學校を卒業して間もなき登志子は、一家の生計を自己の双肩に擔はんと決心し、直ちに出京して郵便爲替貯金管理所に入り雜務同局の

◇緣談をも 一切謝絶して傍ら速記事務所にて速記術を修め夫れ等の收入を以て弟妹の教育と一家の生計を支へ居たり、登志子は明治三十八年八月統計局にて始めて女子集計係に採用され、貯金局に轉勤し、今日迄十四年間一日も休みたることなき精勤に、今回愈々擢されて判任官になりたるなり

暮の疊屋 忙しい商賣

京城では『引通し』が一番需用が多い

相場は昨年より四割高

歳の暮は何處でも忙しいものだが疊屋は殊に忙しい、朝は引きあけ夜は夜更けまで息吐く暇もない位稼いでも後には幾らでも仕事が控へて居ると云ふ有樣、その忙しい仕事場で頭から塵まみれになつた親方の語つたところによると、疊表には普通

▽備後もの と琉球ものと二種類ある備後もので最も品質が好いのは六配表と云ふ奴で以下四配、三配、二配、小骨、引通しと云ふ順序になつてゐる、六配表は飛切り上等のお座敷か茶室に使ふのであるが大體に於て京城では配のは餘り歡迎されない、京城では殆ど引通しばかりで是れは古疊の取替で一疊

▽手間代共 一圓三十錢から二圓十錢と云ふところ、琉球ものは別に疊後表とも云ひ格安の上に強いのでお臺所や下女部屋には誂への代物である之は上物で一疊一圓六七十錢で出來るが昨年にくらべると備後もの琉球もの共に四割高である

▽その理由 は今年は例年よりも原料に使ふ藺の植付けが少いところへ非常な旱作であつた爲め一方需用が益激增した爲めだ、客間その他のお座敷を新しく疊替した序に其のお古を裏へ子供室の方を下女部屋へ順繰に

▽轉用して 行くのは經濟的で何處の家庭でもやつて居る例ではあるが上敷も格安に且簡單に濟むので本年あたりは隨分需用があるやうだ

變つた遊興

子を背負つて登樓

十一日午後十二時頃東京深川區洲崎辨天町二の六貸座敷市川樓方へ年齡三十七八歳位の男四歳位の女兒を背負ひて登樓し娼妓久米野(三〇)を敵娼に遊興し十二日夜迄流連し揚句勘定に不足を生じたるより大門外迄預けた金を取りに行つて來るからと稱し子供を預けた儘外出して歸樓せざりしかば同樓にては子供を持餘し洲崎署へ訴へ出でしより取調べしに件の男は芝區芝口伸宿三敎方の轎子井上庄吉(三〇)と判明し呼出して子供を引渡したるが近來廓内に此の種の無錢遊興流行せりと(東京電話)

賃餅の……殖た加減

▽胡魔化される

年末行事の一なる餅搗が明々始まる、市街地では何處でも賃餅を引受手に渡すを常とするが近年賃餅の中に不正な奴があつて其の數量を胡魔化すのがあるらしいので斯うな點に注意しないと此高い時に一般の者は一層迷惑を感ずるので

並物の 白米を買ひ集めて試驗して見ると斯うである糯米一升(糯附八錢)の目方は三百六十五匁でこれを餅にすると四百九十匁となる此の方の率は三割四分三厘に又糯粳半々を交ぜたもの、一升の目方は三百七十五匁で餅に仕上げて五百四十匁となり四割四分の

增加率 更に最初三百六十三匁のものを餅に搗いて五百十五匁となる、以上は米をふかして一時間を經過して秤掛けたものである一般のものは之れを考へとして賃餅屋が來たら大きな眼玉で睨いて警戒するがよからう

茶目忘年會

十四日午後一時から南山の家で催された義太夫天狗連の茶目忘年會は頗る振つた、發起人●大●●●小●●寶の三味線が出席して鐵妓連の外に南大●合でおつた●●●●の外に[illegible]●●●●[illegible]腕前を見せたので天狗連の興は[illegible]らず、神妙にサクリたけ語つて咽喉の虫を押へ[illegible]だつたが[illegible]座敷に[illegible]その宴會[illegible]太棹の音を聽いて義太夫連も負けて居られぬと騷ぎ出したので天狗連も斯う挑まれては茶目會の名に對しても默つて居れるものかとデン／＼のおくりを[illegible]なり總妓連を先頭に大名行列から總踊りと踊り三味に合せて襖を叩いて飛び廻りチリ鍋街に舞ふの大騷ぎ、世話役の南水、冠笑兩君も『骨折り甲斐が有つた』とて二十何貫の身體を逆立ちにしてうやむやの忘年會の名目以上の騷ぎだつたと嘻さりく

故鈴木校長弔慰及獎學資金寄贈者名

(第十回)

一金五圓 林田順一
一金九圓 近衞步兵第一聯隊第五中隊 湯淺幸藏
一金一圓 市內苑洞 横井トキ
一金一圓 同 横井キクヱ
一金一圓 横井德治
一金一圓六十四錢五厘 慶北公立普通學校生徒 一同
一金一圓 忠清北道公立普通學校 加納博
一金一圓 慶尙南道晉州公立普通學校內 大坂金太郎
一金一圓 同 金相璉
一金一圓 同 金錫振
一金一圓 同 金昌駿
一金七圓 京城同志會
一金十九圓九十錢 私立淑明女子高等普通學校 職員一同
一金十圓 山本旅館館主 釜山西丈
一金二圓 平壤府小學校 西村隆一
一金一圓 同八千代町 瀧井一子
一金五十錢 同 齊藤ふじゑ
一金五十錢 同 黑吉ゆきの
一金五十錢 同 左納きしゑ
一金一圓 唐津富美子
一金一圓 唐津慶藏
一金一圓 唐津昌子
一金一圓 唐津重代
一金五圓 長谷川町一四七 土岐章子
一金五圓 仁川花町 土岐若雄
一金五圓 旭町一丁目 阪倉伊平
一金五圓 島崎病院內 島崎トキ
一金壹圓 同 島崎徹雄
一金參拾圓 西村普通學校 高等官一同
一金七拾七圓九拾九錢 京城仁川中央學校 職員一同
一金六圓 南大門校二年生 大村新之助
一金壹封 李王職
一金拾圓 京城 日韓書房
一金五圓 漢江通 藤田始太郎
一金壹圓 鐵道官舍 佐藤庄太郎
一金拾圓 仁川 田中金兵衛
一金參圓 龍山 長澤義治郎
一金一圓 御前水町 村尾一郎

小計金貳百八十參圓參錢五厘
累計金貳千四百六拾壹圓四拾錢五厘

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲下句付『世の中は』▲一等なし

▲世の中はつまらぬものと遠く姤き 元山 內山
▲世の中は苦あり樂あり風が吹き 晉州 晶非
▲浮世の人生の儚もたれ合ひ 京城 斧暗
▲考へる程馬鹿になり 龍山 三〇生
▲昔金(?)[illegible]の事 龍山 烏石
▲世の中は雜然の中規律あり 平北 家扇子

『日本を第二の獨逸だ』と……

=いふ米國記者が有る程に誤解されてる

原首相の意見を米國から訊きに來た笠井重治氏談

十五年間米國に在つて、日本を米國人に諒解せしめる爲めに努力して居た、笠井重治氏が今回石井大使から各方面に宛て

◇紹介狀 を携へて歸朝した氏は米國シカゴ大學在學中同大學の雄辯競技會に出席し多くの米國青年に見事に打勝つて、一等賞百弗の賞金を贏ち得た、氏は石井大使の知遇を受け、米國官民の間にあつて日本人の權利を主張し日本を紹介する事に努力した人で米國に於ける三人の日本人雄辯家中、その力强き

◇辯舌に 依つて米國人を感動せしむる事に最も秀れて居ると云ふの事である、氏の歸朝談に曰く『米國に於ては日本人はまだ／＼大に誤解されて居る、日本人は外人に會つてもムツト默つて居るので、日本人はマスクを冠つて陰で短刀を擬して居る人種であるやうに思つて居る米國人もある、殊にペリンと云ふ

◇有名な 記者の如きは日本を第二の獨逸だと云つて居る程である、今度自分が來たのは外に目的もあるが、その一つは米國で最も有力な雜誌『ウオルツワーク』の依囑を受け、原さんの外交に關する意見を訊く爲めである、原さんの平和的な意見を米國人に知らせたいと思つて居る』

京日案內

申込中後途解約中止の節は料金不返却 六回以上の御申込は特に割引のこと 御照會は返信附にあらざれば回答せず 一回前金 一行[illegible]

移轉 今般業務擴張の爲め事務所を左記に移轉仕候 京城本町五丁目三十六 共濟金融會 電話一六〇〇番 理事長池田與三郎

事務員 二三名募集本人自筆履歴書持參來談 中學卒業にして廿歲內外 京城鍾路 横濱火災保險 出張所

毛皮なめし 並仕立 獸類製造本類調製鳥類手羽買入 鳥毛皮鳥毛剝製貿易商 京城本町二 電話長二〇六五番

支那 高等御料理 大勉強 京城長橋通北詰 電話二八二一番 新世界

ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

袴專門 並に仕立販賣 綿類卸小賣 町營迅速に調進可仕候 本町四丁目十五番地 山崎商店

◎ピアノ教授を求む (電話二五九九番)

外勤員招聘 固定給と歩合給ス 希望者履歴書持參來談 京城若草町百六番地 西村商會

子弟採用 年齡十三乃至十五歲迄に男女 不拘ピアノオルガン修繕技術修業希望の者は本人直接來談あれ 市內旭町之田小學校前 杉野樂器店

◎金細工職人募集 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂 金工部

小包箱製造 並 貨物箱 商會社前 (電話一六〇二番) 本町一丁目 長谷川製箱所

▲十二月十五日より三十一日迄

景品附歲暮大賣出し

▲錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類高貴男物、其他長トンビ類

安心して買へる正札店

あわじや

京城本町二丁目 江頭衣服本店 電話一三二五番

京城本町一丁目 江頭衣服支店 電話九一七番

流行性感冒恢復期に

正しき補血强壯增進劑

ブルトーゼを召せ

特長 食慾を進め衰弱を回復し體質を補益し絶大の營養と精力とを附與するは本劑の特長なり

說明書進呈す

發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤友吉商店

一瓶容量二五〇瓦入(約半ヶ月分) 全國各地藥店に於て販賣せり

みやさ

到る處の御家庭で大好評

摺味噌大出賣し

到る處の信用ある食料雜貨店にて販賣して居ります

胃腸のくすり

ゴルフ

◆全國藥店にあり◆

東京室町 泰昌製藥株式會社

スワン石鹼

優佳艶麗なるは 池のスワン。

優逸純良なるは スワン石鹼の質。

池のスワンは浮鳥の王、質に!!

スワン石鹼は浮石鹼界中の王!!!

製造元 日本リーバー ブラザース株式會社

母と子 (五十四)

北島春石作 森田久畫

陥穽（二）

折からの菊日和、日比谷で佐久間證一と邂逅した淡紅子は、その晩おそく中洲の我家に戻つた。歌留多の練習にと胡麗化して出たもの、何しろ、若い女が十二時近くまで遊んで歸つたのだから、いくら投遣りがちでもそこは母親だけに、お増の口から一言や二言の叱言はと覺悟してゐたのに『おや、お歸りかい』と言つたばかりで他に考へ事でもあるらしく、娘の方は振返つても見なかつた。

淡紅子は吻と息をついて、自分の部屋をさして行く廊下の出逢ひ頭、女中のお竹を見かけたから

『あのね、お父さんは？』と、それとなく探索を入れるも。お竹は變な笑ひ方をして嘶いた。

『まだお歸宅がございませんよ。』

『あ・解つた！それだから、お母さんは寢ずに入らつしやるのだ。』と思つたが、今夜の淡紅子は臥床へ入つた後までも、妙に眼が冴えて寢付かれず、父親の歸宅のみが待たれて

『薄々はお母さんも感付いてる樣子だけど、屹度、お父さんは芳町へ行つたに相違ない。』と思つたりした。

芳町に想像が外れて北極の果まで飛んで行かうと構はないが、ただ朝鮮行の旅費の減つて行くのが何よりも忌まくしく感じられたのである。

いつの間にかうとくして、ふと眼が覺めて見ると、昨日に變らぬ上天氣。もう姉弟達は學校へ出かけたらしく、何處の部屋もひつそり、自分も直に跡を追はなくてはならぬ筈だが、昨夜からの淡紅子はすつかり氣が變つてゐるので、障子の椽に高い朝陽を見ても、いつもより大分寢すごしたとは分つてゐるが、昨日、心の扉に怖ろしい企謀を彫みつけられた後なればそれを承知しながら臥床を離れようとはしなかつた。

『お孃樣、お孃樣。』

障子の外から女中のお竹が呼びかけて

『今朝は何うなすつたのでございますね、學校へ入らつしやるのが遲れますよ。』

『あ、お竹なの。』と、淡紅子は今始めて眼ざめたやうな聲を出した

『わたしね、何だか風邪を引いたらしいから、今日だけはお休みにするよ。』

『おや、それはいけませんね。』と細目に障子をあけて顏を差入れた

『よつほどお熱でもございますか。』

『それほどでもないけど……お前からお母さんに申上げておくれな。』

『その奧樣もお風邪氣とかおつしやいましてね。』

『まだお寢床になつてるの。』と、考へるやうな眼色して『ぢや、お父さんはお歸宅なさらなかつたね。』

『ですから、手前は二時すぎまで寒い思ひをいたしましたよ。』

『さう、お氣の毒だつたね。』

我儘一杯で、ちつとも同情のない淡紅子が、何うしてこんな優しい言葉をかけるのかと、お竹は却つて不氣味にも思はれたらしく

『後程お藥を持つてまゐりませうから……まあ、お大切になさいまし。』と匆々に引揚げた。

その跫音が、遠く廊下の彼方に消ねてゆくのを見送つて、淡紅子はするりと臥床から脱け出でた。そして、寢衣の上から羽織だけ引被け、髮も梳かさねば顏も洗はず四隣に氣を配りながら箪笥の前へと立寄つた。

音のしないやうにと細かく心を配りながら、一つ〳〵と抽斗を拔いて、あれやこれやと撰分けた後三つばかり大きな風呂敷づゝみを拵へた。

さて思惑通り事が運ぶまで、何處へ隱しておいたものかと一思案、やがて、押し入の襖へ押し込んで、その上から不用の毛布を被せて一息吐く。

悠うして、我家にはその歸宅を待つものありと知つてか知らずにか、それから三日目の夜も九時頃になつて、父親の朔平はふらりと立戻つた。

お料理七種

▽―材料は鳥と大根

▽鳥びしは　雀の肉を細かにきざみ鹽漬にして二週間程置き麹に味淋と醬油とを適宜に混ぜて漬込みます

◇小鳥ほろ味噌　小鳥ならば鳩でも鶉でも何でもよいのです。その作り肉と骨とを細かに叩き潰し擂鉢に入れて擂り味噌を混ぜ酒を加へて溶め鍋に入れとろ火にて炒りつかぬ樣にかき廻し乍ら三時間程煮込み山椒の粉炒り胡麻などあしらつて能く煉上げぽろ〳〵になつた頃壺に入れて蓄へます

▽小鳥南蠻　小鳥の羽毛及び腸を去り魚の擂り肉を腹につめ絲にて括り胡麻油で揚げ適宜に切つて煮ます

▽印籠繪　大根を二分位の輪切りにしたぎつた湯に入れて幾度も煮返し、擂鉢に鯛、比目魚などの白肉の魚のみを入れて能く擂り鹽少量酒少量味噌よき加減と葛粉少々加へて攪混ぜ先の大根を挾み上て溫きうちにかき混ぜる

▽たま子和へ　大根を纖に打ちて鹽をふり暫くして水洗ひして堅く搾り味加減して煮込み別に煮ぬき玉子を擂潰し味噌を加へて

▽大根の海苔酢和へ　大根の皮を去り小さく角切りにして良くゆで、淺草海苔に火を透して細かくして酢に浸し冷めぬうちにその中へ入れて和へます

▽大根の糟煮　酒糟を水でゆるめ擂鉢で擂り味噌を煮立たせます、大根は笹がきにしておきます小鳥の肉を叩いて小さく丸め葱の白根を五分切りにした物とゆでた慈姑木耳など取混ぜて煮ます

皮膚科
皮膚病 黴毒 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）
佐藤醫院　電話一一七三番

お進物用 玄武栗
かきのしほから
かきの佃煮
●玄武栗　贈答最適品
内地へ御送りの方には當方にて荷造りを完全に致します
京城旭町一丁目
電話一八五二番　玄武堂

日報歌壇

□奉天より　旬平生

哈爾賓へ向け北行、平頂より既に白雪皚々、冷氣頓に加はり申候

我前位は唄へさうな女も交る輸走の旅

果知らぬ雪の荒野をレールのみ軌る

冬の眼からいつ發めるやらぬ荒野だもの

明鳥　倉成藤水

元祿の人の情けな眞實に感じ嘆きてこぼるゝ涙

前世のかの純鹿の子の長襦袢わがきて寢ればあまりなやまし

しかすがに眞實心み醒へては吾も涙のあふれざらめや

つきつめし戀のなかにもこれやこのステテコ、シヤンさいふ心地あり

あきらめのそのあかさきにふりしきし雪の光りの眼に痛々し

さめ〴〵と寄き月夜は泣かまほしせめては戀のともひのため

七、一二、六　松井秀水

落葉風はやも涙をさそひきて空に流るゝ煙の烟ありき

冬霜の山の遠くのぼりゆきこゝろ沈きけり沈みゆく暇に

讀者の領分

かなしくも母の歎けば日ははやも落ちであらなき夕野原かな

さむざむと潮満ちきたる箱崎の濱へに泣きし母をわすれず

目さむればそこに母ありくやしげに心弱きを嘆るごこし

病もさきし癒ゆるときて四百里の海の彼方に母泣くといふ

目さむればあしたの床になにごとぞ淚流れてゐたりけるかも

▲京城にも田歌よおりの人々が澤山居られるやうに見受けますから、大正八年の新年には御前の下催でも投稿募集を是非御願いたします（歌好きの一人）▲

[illegible]（武八郎生）

英國募債狀況

在倫敦鈴木財務官より高橋大藏大臣宛電報左の如し

[illegible]子の支拂ありたる昨年同期の一週は[illegible]も拘らず二〇、七二一、〇〇〇磅增加したるに比較すれば非常の減少なり然れども貿上口數末に近づき時に資金を必要とする爲ならん

▲馬克相場續落　當週は前週の一三、〇〇〇に比し當週[illegible]〇〇

▲瑞西五七、二九一

而して右低落の原因と見るべきは左の如し

（一）輸出貿易未だ眞に回復せず却つて是れが前提たる原料の輸入（二）露國より得たる金を既に[illegible]

▲佛國防債成績　當分電信特第一八八號に新佛國々防公債成績は暫定額百七十八億五千三百二[illegible]

讀者文藝課題及び募集規定

[illegible]

□募集規定　▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に雅號又は氏名の外に住所氏名明記の事▲一等は五十錢當切手を呈す▲[illegible]

最新刊
ポケツト日記（抄文館）
[illegible]
▲世界に於る珍しい話
國家と成の時代中
[illegible]

◎年末年始の御贈答品として
一番喜ばる萬年筆
ウオーターマン其他各種澤山取揃居候
京城本町一丁目
大阪屋號
電話六四番　振替京城二五七三番

大正式製繩機
實驗用大割引
本機は事業として最も有利
二十種の製[illegible]
自在也説明書進呈
製莚機 二角製繩器 ランプ[illegible]
東京本所長崎町三日本製繩機會

歳末年始の御贈答には
本年も又是非
贈つても貰つても一番喜ばれる
美味と滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインに
おきめ遊せば!!
贈答には最好適品
■先方の健康を祝する意味に於て
■置けば置く程品の良くなる點に於て
■進物として最も格好な贈答品
それ故に皆樣に是非御勸めします

此節のお化粧はこうしてなさるのが一番安全で美くしう厶います。
今はお肌の荒れる時ですから、名もない白粉を使ふと却つて餘計にお肌を荒します。一番安全で美くしいお化粧の出來るのは、地肌から整へてゆくレート白粉で、お化粧下にクレームレートを引いて一たんこれを拭き取つた上へ、レート白粉を刷けて下されば、其美くしさは一層冴々くご致します。
お化粧榮えのする
レート白粉

發賣元
東京
平尾贊平